

## 三重県産米とユニバーサルデザインに関するアンケートの結果報告

この度は、「三重県産米とユニバーサルデザインに関するアンケート」にご協力いただき、ありがとうございました。

アンケート結果を下記のとおり報告いたします。

### I アンケートの概要

- (1) 実施期間 平成 30 年 1 月 12 日（金曜日）から 1 月 29 日（月曜日）まで
- (2) 対象者数 1,161 人
- (3) 回答者数 775 人
- (4) 回答率 66.0%

#### ア 性別

	男性	女性
回答者数	385 人	390 人
構成比	49.7%	50.3%

#### イ 年齢階層別

	10 歳代 20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代以上
回答者数	47 人	160 人	211 人	174 人	142 人	41 人
構成比	6.1%	20.6%	27.2%	22.5%	18.3%	5.3%

#### ウ 地域別

	北勢	中南勢	伊勢志摩	伊賀	東紀州
回答者数	373 人	217 人	85 人	76 人	24 人
構成比	48.1%	28.0%	11.0%	9.8%	3.1%

※北勢地域 四日市市、桑名市、鈴鹿市、亀山市、いなべ市  
木曾岬町、東員町、菰野町、朝日町、川越町

※中南勢地域 津市、松阪市、多気町、明和町、大台町

※伊勢志摩地域 伊勢市、鳥羽市、志摩市、玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町

※伊賀地域 名張市、伊賀市

※東紀州地域 尾鷲市、熊野市、紀北町、御浜町、紀宝町

## Ⅱ アンケート結果

### ○「三重県産米に関するアンケート結果について」（農林水産部農産園芸課）

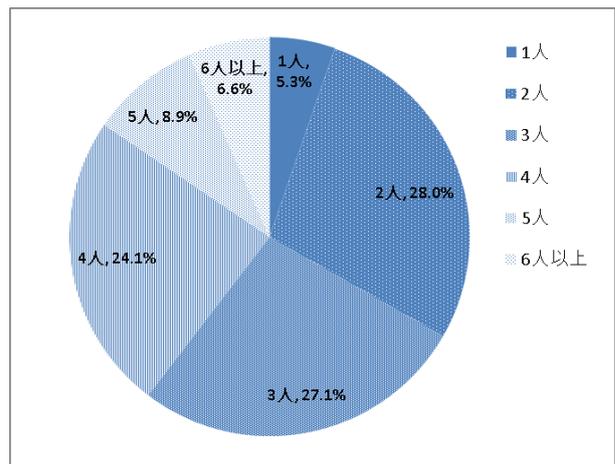
※文章中のパーセント表示については、小数点第1位に四捨五入してあるため、必ずしもそれぞれの和にならないことがあります。

#### 1 お米を消費する世帯の人数について

Q1 あなたの世帯の人数は何人ですか。

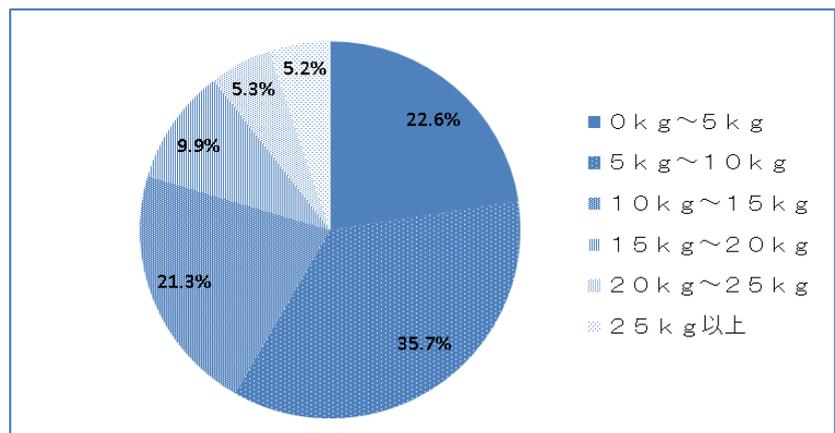
アンケートに回答いただいた世帯の人数としては、「2人世帯」が28.0(26.3)％、「3人世帯」が27.1(27.4)％、「4人世帯」が24.1(25.7)％と、これらの世帯で全体の79.2(79.4)％を占めていました。

※（ ）は昨年度調査の数値



#### 2 お米の消費量について

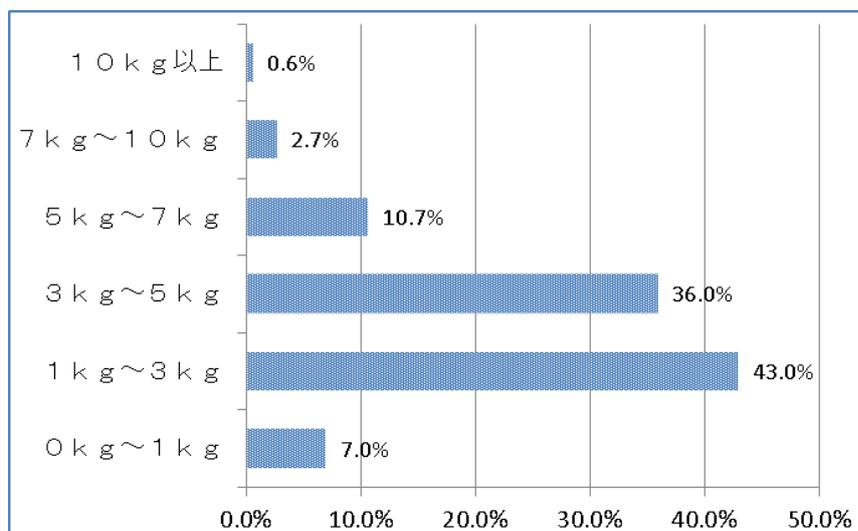
Q2 あなたの世帯では、1か月間にどのくらいのお米を食べますか。



1世帯あたり、1か月間のお米の消費量は「0kg～5kg未満」が22.6(21.6)％、「5kg～10kg未満」が35.7(35.8)％、「10kg～15kg未満」が21.3(20.7)％でした。

※（ ）は昨年度調査の数値

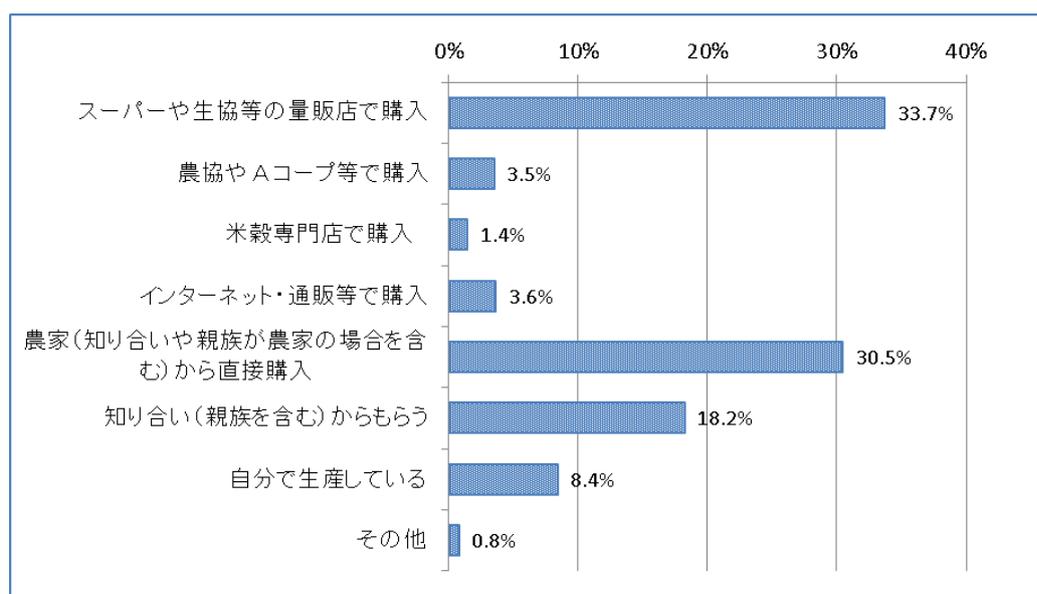
Q 1、2より 1人あたり1か月間のお米の消費量について



問1と問2の結果から得られる1人あたり、1か月間のお米の消費量は、「1kg~3kg」が43.0(41.5)%と最も多く、次いで「3kg~5kg」で36.0(37.0)%でした。これらの結果に「0kg~1kg」の7.0(7.0)%を加味すると、1人あたり1か月間のお米の消費量が「5kgまで」という方が全体の86(86)%を占めていました。※( )は昨年度調査の数値

### 3 お米の入手方法について

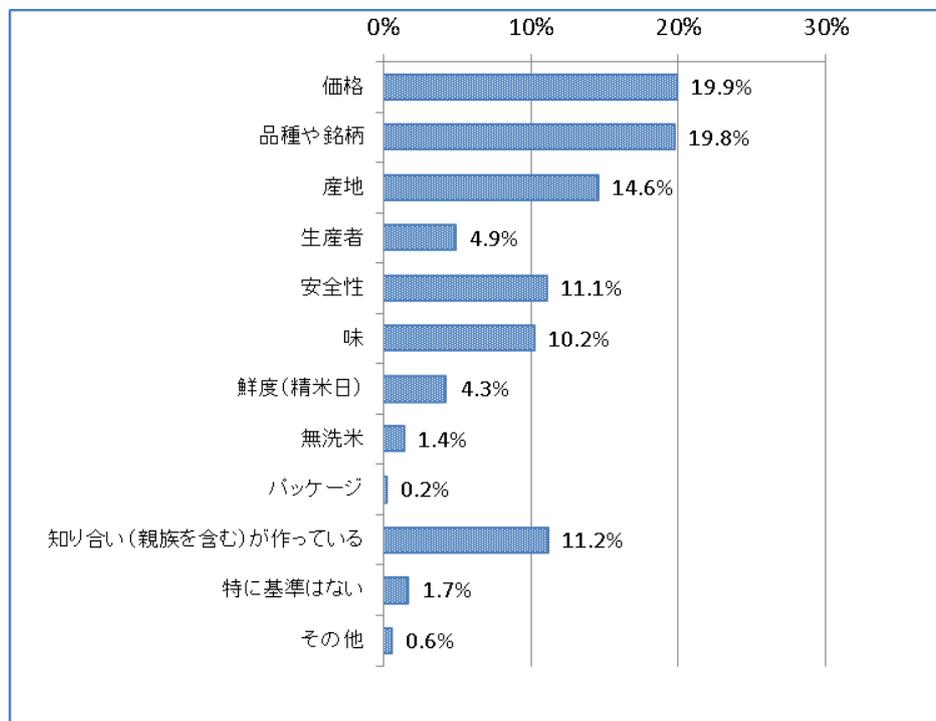
Q 3 あなたの世帯では、主にどのような方法でお米を購入(入手)していますか。あてはまるものを1つ選んでください。



お米の入手方法は、「スーパーや生協等の量販店で購入する」という方が33.7%、「農家(知り合いや親族が農家の場合を含む)から直接購入する」という方が30.5%、「知り合い(親族を含む)からもらう」という方が18.2%などの結果となりました。

#### 4 お米の選び方について

Q4 Q3で「自分で生産している」以外を選択された方にお聞きします。お米を購入（入手）される際に、基準にしているものは何ですか。主なものを3つまで選んでください。

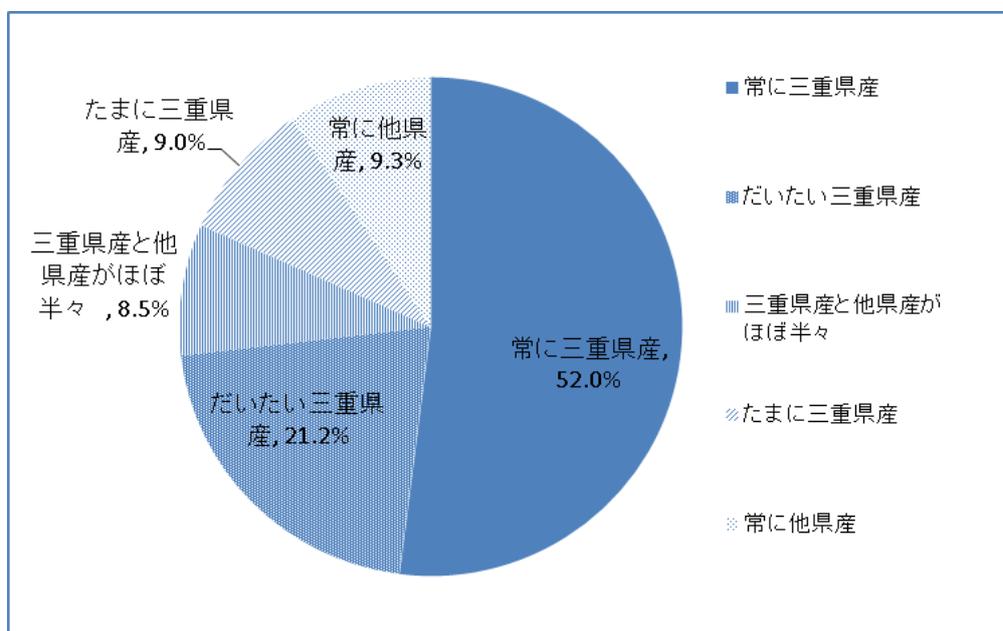


問3で「自分で生産している」と回答した以外の方に、お米を入手される際の基準をお聞きしたところ、「価格」が19.9%、「品種名や銘柄」が19.8%、「産地」が14.6%、「知り合い（親族を含む）が作っている」が11.2%、「安全性」が11.1%の順となりました。

（回答総数 1,681）

## 5 お米の産地について

Q 5 あなたの世帯で購入（入手）するお米は三重県産米ですか。



入手されるお米の産地としては、「常に三重県産」が52.0（55.7）%、「だいたい三重県産」が21.2（20.7）%、「三重県産と多産地がほぼ半々」が8.5（7.4）%、「たまに三重県産」が9.0（8.5）%、「常に他県産」が9.3（7.7）%この2つを合わせると、主として三重県産米を購入（入手）することが多い方が全体の73.2（76.4）%を占めていました。

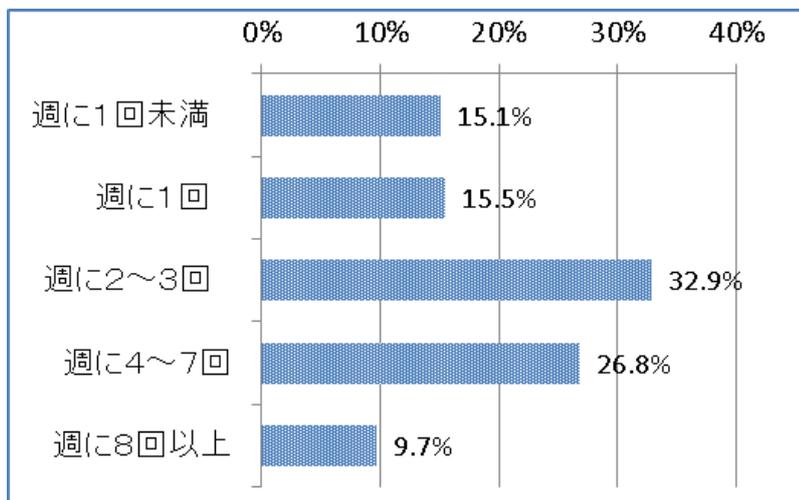
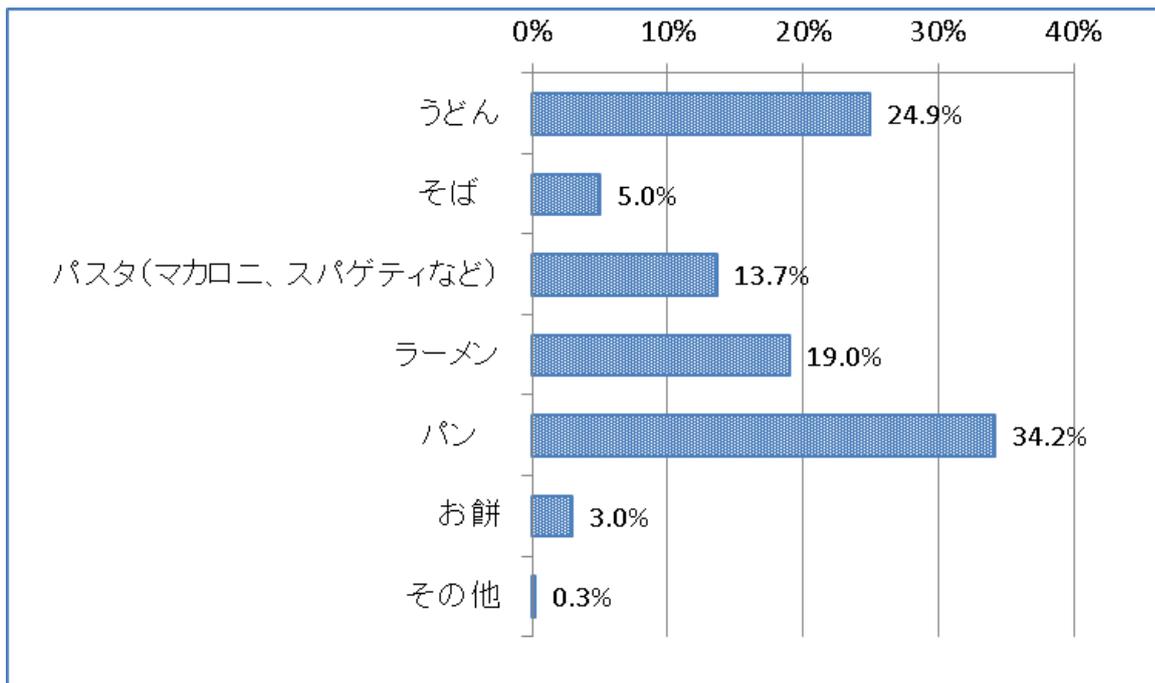
## 6 お米以外で良く食べる主食について

Q 6 あなたが、お米以外でよく食べる主食はなんですか。主なものを3つまで選んでください。※主食とは、お米（米飯）以外に食べる、主に炭水化物の食事としてください。

## 7 お米以外の主食を食べる回数について

Q 7 あなたは、ふだん食事をする場合、お米以外の主食を食べることが週にどれくらいありますか。

お米以外の主食については、「パン」が34.2%で最も多く、次いで「うどん」の24.9%、「ラーメン」の19.0%、「パスタ」13.7%となっています（回答総数1,909）。これらお米以外の主食を食べる回数については、「週に2～3回」が最も多い32.9%、次いで週に4～7回」の26.8%となっています。「週に8回以上」の回答も9.7%となっており、米以外の主食を食べることが定着しているのがよくわかります。



アンケート結果の地域別集計（問3から問7まで）

1. 桑員地域 (93 名)

Q3 お米の入手方法について

スーパーや生協等の量販店	33.5%
農協やAコープ等	3.5%
米穀専門店	1.4%
インターネット・通販等	3.6%
農家(知人や親族を含む)から買う	29.7%
知人(親族を含む)からもらう	18.2%
自分で生産	8.4%
その他	1.7%

100.0%

Q4 お米の選び方について

価格	20.3%
品種や銘柄	18.3%
産地	14.9%
生産者	5.0%
安全性	11.3%
味	10.4%
鮮度(精米日)	4.4%
無洗米	1.5%
パッケージ	0.2%
知人が作っている	11.4%
特に基準はない	1.8%
その他	0.6%

100.0%

Q5 お米の産地について

常に三重県産米	40.9%
だいたい三重県産米	18.3%
県産と他県産がほぼ半々	9.7%
たまに三重県産米	12.9%
常に他県産地米	18.3%

100.0%

Q6 お米以外で良く食べる主食について

うどん	25.5%
そば	7.7%
パスタ類	15.3%
ラーメン	17.0%
パン	31.1%
お餅	3.4%
その他	0.0%

100.0%

Q7 お米以外の主食を食べる回数について

週に1回未満	11.8%
週に1回	11.8%
週に2~3回	38.7%
週に4~7回	25.8%
週に8回以上	11.8%

100.0%

2. 四日市地域 (171 名)

Q3 お米の入手方法について

スーパーや生協等の量販店	36.3%
農協やAコープ等	5.8%
米穀専門店	1.8%
インターネット・通販等	4.1%
農家(知人や親族を含む)から買う	28.1%
知人(親族を含む)からもらう	15.8%
自分で生産	5.3%
その他	2.9%

100.0%

Q4 お米の選び方について

価格	19.8%
品種や銘柄	18.5%
産地	17.7%
生産者	5.6%
安全性	11.1%
味	8.5%
鮮度(精米日)	5.8%
無洗米	1.6%
パッケージ	0.3%
知人が作っている	9.5%
特に基準はない	1.3%
その他	0.3%

100.0%

Q5 お米の産地について

常に三重県産米	40.9%
だいたい三重県産米	24.6%
県産と他県産がほぼ半々	11.7%
たまに三重県産米	12.9%
常に他県産地米	9.9%

100.0%

Q6 お米以外で良く食べる主食について

うどん	25.3%
そば	5.4%
パスタ類	11.2%
ラーメン	19.5%
パン	35.8%
お餅	2.9%
その他	0.0%

100.0%

Q7 お米以外の主食を食べる回数について

週に1回未満	15.2%
週に1回	13.5%
週に2~3回	29.2%
週に4~7回	31.6%
週に8回以上	10.5%

100.0%

### 3. 鈴亀地域（109名）

#### Q3 お米の入手方法について

スーパーや生協等の量販店	26.6%
農協やAコープ等	0.9%
米穀専門店	0.0%
インターネット・通販等	4.6%
農家(知人や親族を含む)から買う	39.4%
知人(親族を含む)からもらう	16.5%
自分で生産	10.1%
その他	1.8%

100.0%

#### Q4 お米の選び方について

価格	23.4%
品種や銘柄	14.9%
産地	9.7%
生産者	4.6%
安全性	14.3%
味	8.0%
鮮度(精米日)	2.3%
無洗米	2.3%
パッケージ	0.6%
知人が作っている	16.6%
特に基準はない	3.4%
その他	0.0%

100.0%

#### Q5 お米の産地について

常に三重県産米	55.0%
だいたい三重県産米	22.0%
県産と他県産がほぼ半々	4.6%
たまに三重県産米	8.3%
常に他県産地米	10.1%

100.0%

#### Q6 お米以外で良く食べる主食について

うどん	25.2%
そば	4.2%
パスタ類	14.1%
ラーメン	17.9%
パン	35.1%
お餅	1.9%
その他	1.5%

100.0%

#### Q7 お米以外の主食を食べる回数について

週に1回未満	13.8%
週に1回	14.7%
週に2~3回	36.7%
週に4~7回	23.9%
週に8回以上	11.0%

100.0%

### 4. 津地域（130名）

#### Q3 お米の入手方法について

スーパーや生協等の量販店	37.7%
農協やAコープ等	1.5%
米穀専門店	0.8%
インターネット・通販等	3.1%
農家(知人や親族を含む)から買う	30.8%
知人(親族を含む)からもらう	21.5%
自分で生産	3.8%
その他	0.8%

100.0%

#### Q4 お米の選び方について

価格	22.1%
品種や銘柄	17.5%
産地	14.5%
生産者	3.3%
安全性	12.2%
味	10.6%
鮮度(精米日)	5.0%
無洗米	1.0%
パッケージ	0.3%
知人が作っている	12.2%
特に基準はない	1.0%
その他	0.3%

100.0%

#### Q5 お米の産地について

常に三重県産米	46.2%
だいたい三重県産米	28.5%
県産と他県産がほぼ半々	10.0%
たまに三重県産米	4.6%
常に他県産地米	10.8%

100.0%

#### Q6 お米以外で良く食べる主食について

うどん	23.6%
そば	5.0%
パスタ類	15.2%
ラーメン	17.7%
パン	34.8%
お餅	3.7%
その他	0.0%

100.0%

#### Q7 お米以外の主食を食べる回数について

週に1回未満	10.8%
週に1回	17.7%
週に2~3回	30.8%
週に4~7回	30.8%
週に8回以上	10.0%

100.0%

5. 松阪地域 (87 名)

Q3 お米の入手方法について

スーパーや生協等の量販店	26.4%
農協やAコープ等	4.6%
米穀専門店	1.1%
インターネット・通販等	2.3%
農家(知人や親族を含む)から買う	27.6%
知人(親族を含む)からもらう	25.3%
自分で生産	11.5%
その他	1.1%

100.0%

Q4 お米の選び方について

価格	17.0%
品種や銘柄	16.5%
産地	11.9%
生産者	6.3%
安全性	11.9%
味	12.5%
鮮度(精米日)	5.1%
無洗米	1.7%
パッケージ	0.0%
知人が作っている	13.6%
特に基準はない	2.8%
その他	0.6%

100.0%

Q5 お米の産地について

常に三重県産米	74.7%
だいたい三重県産米	9.2%
県産と他県産がほぼ半々	5.7%
たまに三重県産米	5.7%
常に他県産地米	4.6%

100.0%

Q6 お米以外で良く食べる主食について

うどん	25.3%
そば	3.2%
パスタ類	17.2%
ラーメン	20.8%
パン	32.6%
お餅	0.9%
その他	0.0%

100.0%

Q7 お米以外の主食を食べる回数について

週に1回未満	19.5%
週に1回	23.0%
週に2~3回	31.0%
週に4~7回	24.1%
週に8回以上	2.3%

100.0%

6. 伊勢志摩地域 (85 名)

Q3 お米の入手方法について

スーパーや生協等の量販店	36.5%
農協やAコープ等	3.5%
米穀専門店	1.2%
インターネット・通販等	2.4%
農家(知人や親族を含む)から買う	29.4%
知人(親族を含む)からもらう	18.8%
自分で生産	7.1%
その他	1.2%

100.0%

Q4 お米の選び方について

価格	17.0%
品種や銘柄	16.5%
産地	15.4%
生産者	5.5%
安全性	12.6%
味	15.4%
鮮度(精米日)	2.2%
無洗米	0.5%
パッケージ	0.0%
知人が作っている	12.1%
特に基準はない	1.6%
その他	1.1%

100.0%

Q5 お米の産地について

常に三重県産米	60.0%
だいたい三重県産米	20.0%
県産と他県産がほぼ半々	5.9%
たまに三重県産米	10.6%
常に他県産地米	3.5%

100.0%

Q6 お米以外で良く食べる主食について

うどん	22.5%
そば	4.3%
パスタ類	12.9%
ラーメン	23.4%
パン	34.0%
お餅	2.4%
その他	0.5%

100.0%

Q7 お米以外の主食を食べる回数について

週に1回未満	14.1%
週に1回	14.1%
週に2~3回	36.5%
週に4~7回	25.9%
週に8回以上	9.4%

100.0%

7. 伊賀地域 (76名)

Q3 お米の入手方法について

スーパーや生協等の量販店	27.6%
農協やAコープ等	1.3%
米穀専門店	0.0%
インターネット・通販等	1.3%
農家(知人や親族を含む)から買う	34.2%
知人(親族を含む)からもらう	10.5%
自分で生産	22.4%
その他	2.6%

100.0%

Q4 お米の選び方について

価格	21.8%
品種や銘柄	19.7%
産地	15.5%
生産者	7.0%
安全性	7.0%
味	12.7%
鮮度(精米日)	3.5%
無洗米	0.7%
パッケージ	0.7%
知人が作っている	9.2%
特に基準はない	0.7%
その他	1.4%

100.0%

Q5 お米の産地について

常に三重県産米	59.2%
だいたい三重県産米	17.1%
県産と他県産がほぼ半々	11.8%
たまに三重県産米	6.6%
常に他県産地米	5.3%

100.0%

Q6 お米以外で良く食べる主食について

うどん	27.4%
そば	4.8%
パスタ類	10.2%
ラーメン	19.4%
パン	33.9%
お餅	4.3%
その他	0.0%

100.0%

Q7 お米以外の主食を食べる回数について

週に1回未満	18.4%
週に1回	13.2%
週に2~3回	34.2%
週に4~7回	21.1%
週に8回以上	13.2%

100.0%

8. 東紀州地域 (24名)

Q3 お米の入手方法について

スーパーや生協等の量販店	25.0%
農協やAコープ等	8.3%
米穀専門店	8.3%
インターネット・通販等	8.3%
農家(知人や親族を含む)から買う	25.0%
知人(親族を含む)からもらう	25.0%
自分で生産	0.0%
その他	0.0%

100.0%

Q4 お米の選び方について

価格	14.8%
品種や銘柄	24.6%
産地	14.8%
生産者	6.6%
安全性	14.8%
味	11.5%
鮮度(精米日)	3.3%
無洗米	1.6%
パッケージ	0.0%
知人が作っている	3.3%
特に基準はない	3.3%
その他	1.6%

100.0%

Q5 お米の産地について

常に三重県産米	58.3%
だいたい三重県産米	25.0%
県産と他県産がほぼ半々	0.0%
たまに三重県産米	8.3%
常に他県産地米	8.3%

100.0%

Q6 お米以外で良く食べる主食について

うどん	25.4%
そば	4.8%
パスタ類	14.3%
ラーメン	12.7%
パン	34.9%
お餅	7.9%
その他	0.0%

100.0%

Q7 お米以外の主食を食べる回数について

週に1回未満	33.3%
週に1回	20.8%
週に2~3回	20.8%
週に4~7回	20.8%
週に8回以上	4.2%

100.0%

## 8 三重県産米への意見等について

Q8 三重県産米に求めるものや期待することなどについて、ご自由にお書きください。

様々な多くのご意見をいただきありがとうございました。すべてのご意見のご紹介はできませんが、多くのご意見をいただいたものを傾向と共に一部お知らせします。

県産米へのご意見としては、「他に負けない素晴らしい県内米が有り嬉しい」「価格手ごろで、食味が良好で安全安心な米」「三重県は、綺麗な水と豊かな日光でお米を作っているの、もっとアピールしたほうがいいと思う」「三重県産米をもっとアピールして欲しい」「美味しいお米なのだから、もっとアピールして、消費拡大に努めてほしい」「美味しいお米なので、全国にアピールしても良い」など、品質には一定の評価を得ている一方、アピール不足を感じているご意見が幾つかあげられました。

一部では「価格や鮮度を比べ、他県産の米を購入する事が多くなってきた」といった、レベルアップを求めるご意見もありました。

また、流通するお米について、「混ぜ物がないかの検査されているのかがよくわからない」「生産日（精米日）が古かった」「生産地、生産方法、生産者などの情報公開を希望」「いつどこで収穫されたものか明記があるといい」「生産管理・生産地・生産者が明確であること」など、できるだけ、生産や製造に関する情報を多く得たいという意見が多くありました。

また、購入したいお米に求めることとして、「安心安全なお米」「安心して食べれる安全性」「減農薬栽培で作っていただける事を期待」「農薬などの仕様を最小限にした安全安心のコメを食べたい」「無農薬などの安全性」「無農薬希望」「農薬を減らしたものを増やして欲しい」など、安全安心に関するご意見が多く、とりわけ農薬使用を減らしたお米を食べたいというご意見が多くありました。

三重県産米は、県内量販店や米穀店でお買い求めいただけます。また、県内各地域の農産物直売施設等では、地域独自の品種・銘柄や、生産者こだわりのお米が発見できます。いずれも様々な品種・銘柄が販売されていますので、どうぞお試しください。

いただいたご意見は、今後の三重県産米の振興のための資料として活用させていただきます。この資料をご覧になっている皆様には、これを機会に是非、三重県産米のサポーターになっていただければと存じます。

○「ユニバーサルデザインに関する意識調査の結果について」（健康福祉部地域福祉課）

※文章中のパーセント表示については、小数点第1位に四捨五入してあるため、必ずしもそれぞれの和にならないことがあります。

9 「ユニバーサルデザイン」の意味の認知度及び関心について

Q9 「ユニバーサルデザイン」の意味をご存じですか。また、関心はありますか。

ユニバーサルデザインの意味について全体で 71.2%の方が知っているとは回答しています。

年代別に見ると、10歳代 20歳代（74.5%）、40歳代（72.5%）、50歳代（72.4%）の順に高くなっています。

地域別では、中南勢地域（78.3%）、伊賀地域（72.4%）、北勢地域（68.4%）の順に高くなっています。

また、ユニバーサルデザインに関心のある方は、「意味を知っており、関心もある（38.7%）」「意味は知らないが、関心はある（16.5%）」と回答されている方を合わせ、55.2%となっています。

年代別に見ると、70歳代以上（65.9%）、10歳代 20歳代（59.6%）、60歳代（58.5%）の順に高くなっています。

地域別では、伊勢志摩地域（60.0%）、東紀州地域（58.3%）、中南勢地域（55.8%）の順に高くなっていますが、地域間での差は小さい結果となりました。

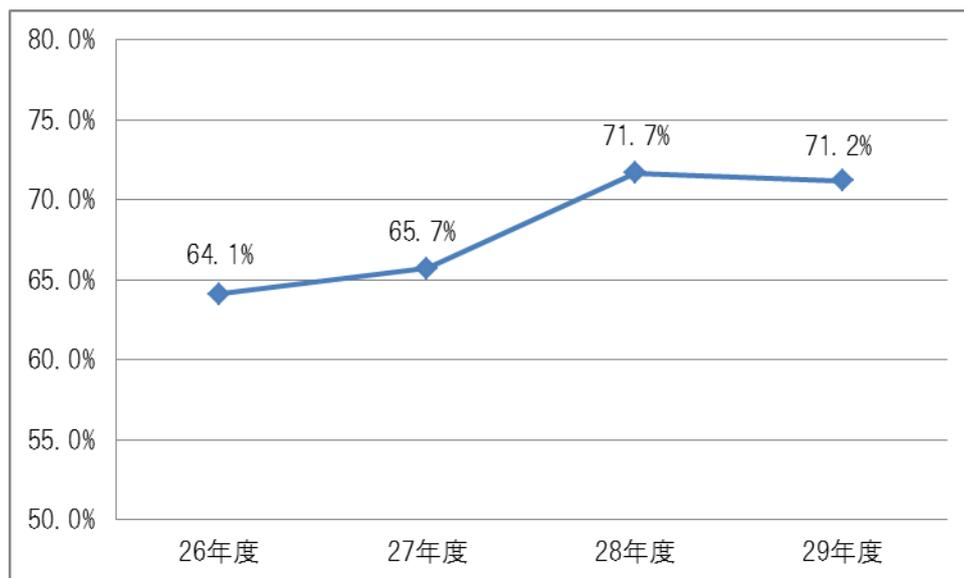


図 「ユニバーサルデザイン」の意味を知っている方の割合（過去の調査との比較）

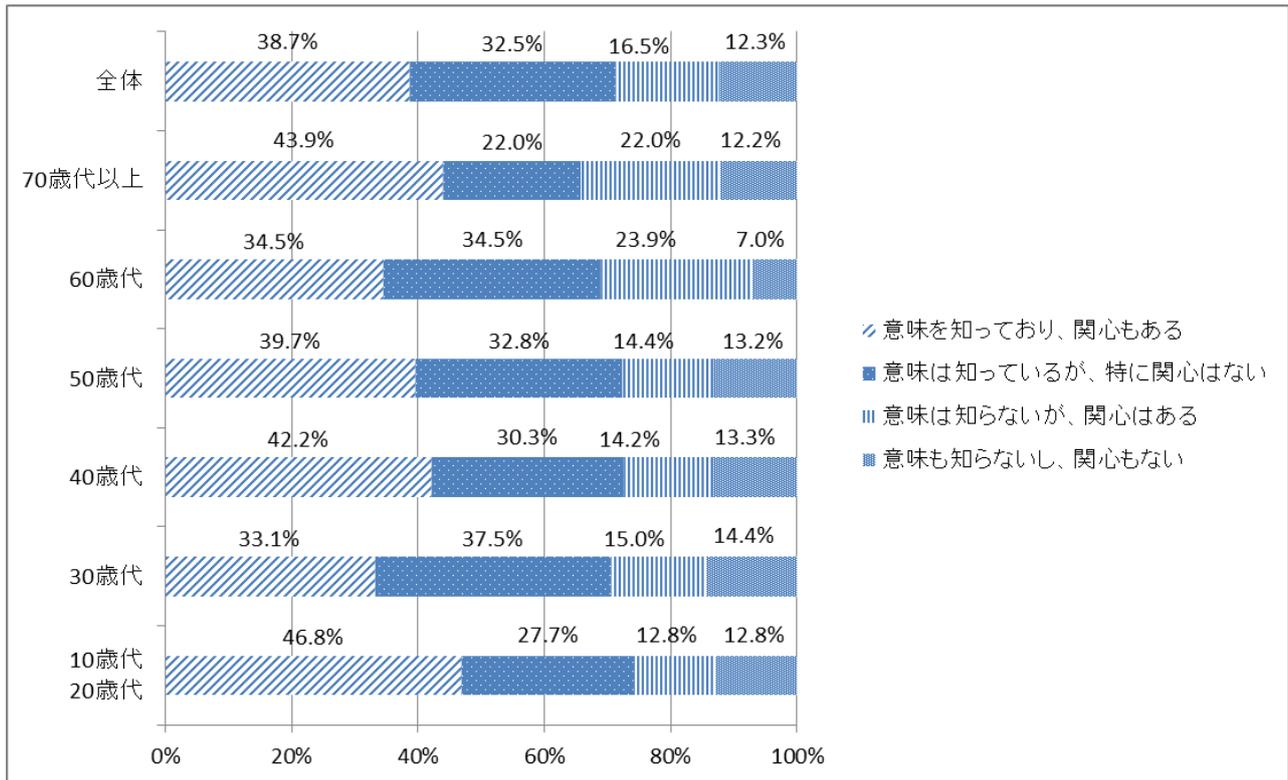


図 ユニバーサルデザインの意味の認知度及び関心（年代別）

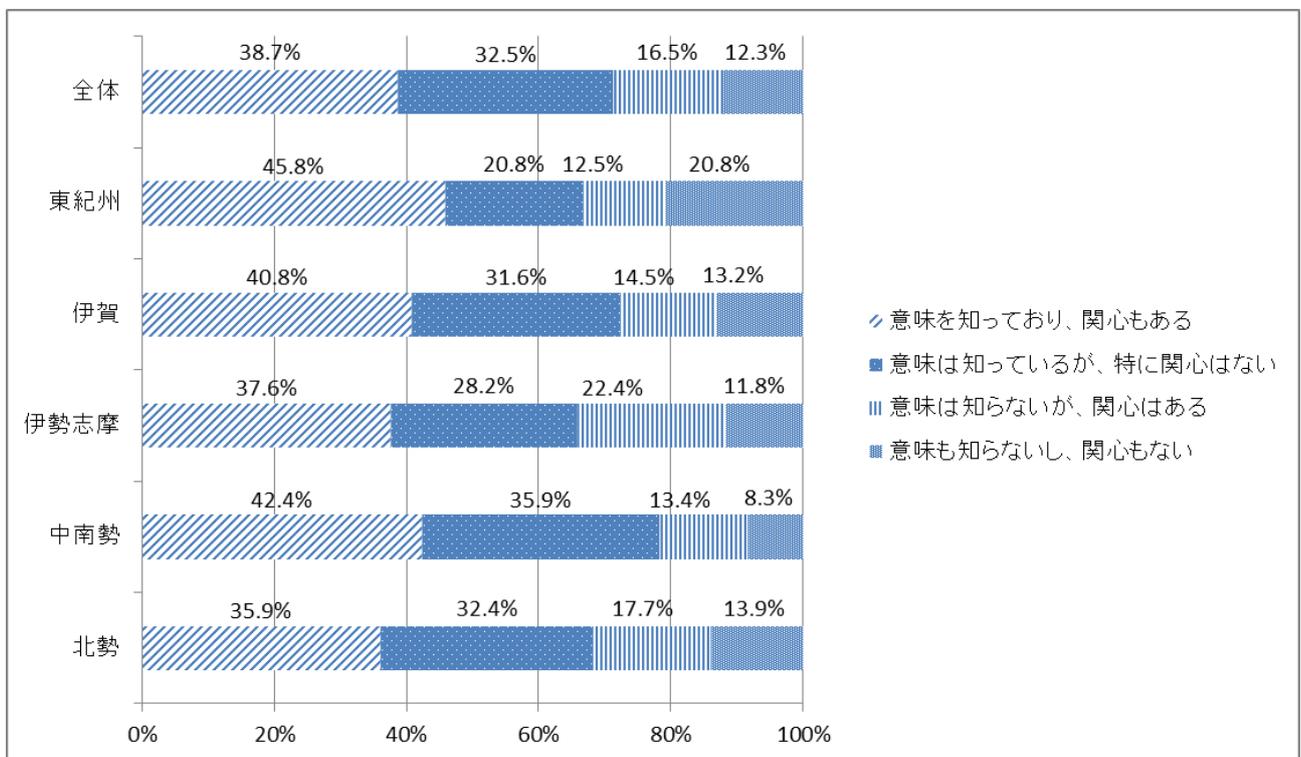


図 ユニバーサルデザインの意味の認知度及び関心（地域別）

## 10 設備等に関するユニバーサルデザインについて

Q10 官公庁・病院・スーパー・駅舎・歩道など多くの人利用する施設やバスなどの乗り物についてだれもが使いやすくなっていると感じますか。

多くの人利用する施設やバスなどの乗り物についてだれもが使いやすくなっていると感じるかという問いに、「そう感じる（8.3%）」「どちらかと言えばそう感じる（54.8%）」と回答した方は、合わせて63.1%となっています。

年代別に見ると、70歳代以上（70.7%）、10歳代20歳代（70.2%）、40歳代（64.5%）の順で高くなっていますが、世代間の差は小さい結果となりました。

一方、地域別で見ると、伊賀地域（59.2%）、東紀州地域（45.8%）が、県全体の平均（63.1%）に比べて低くなっています。

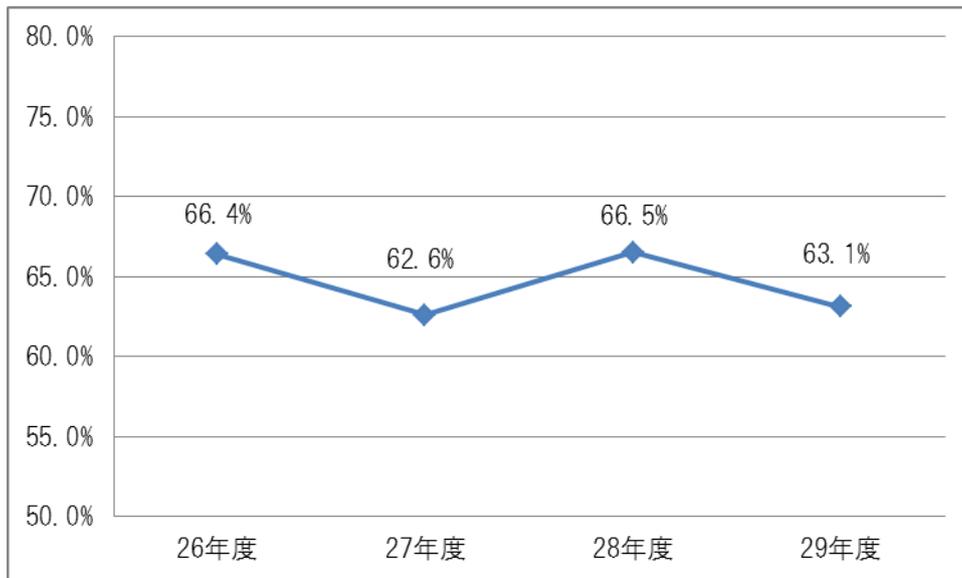


図 多くの人利用する施設が使いやすくなってきたと感じる方の割合（過去の調査との比較）

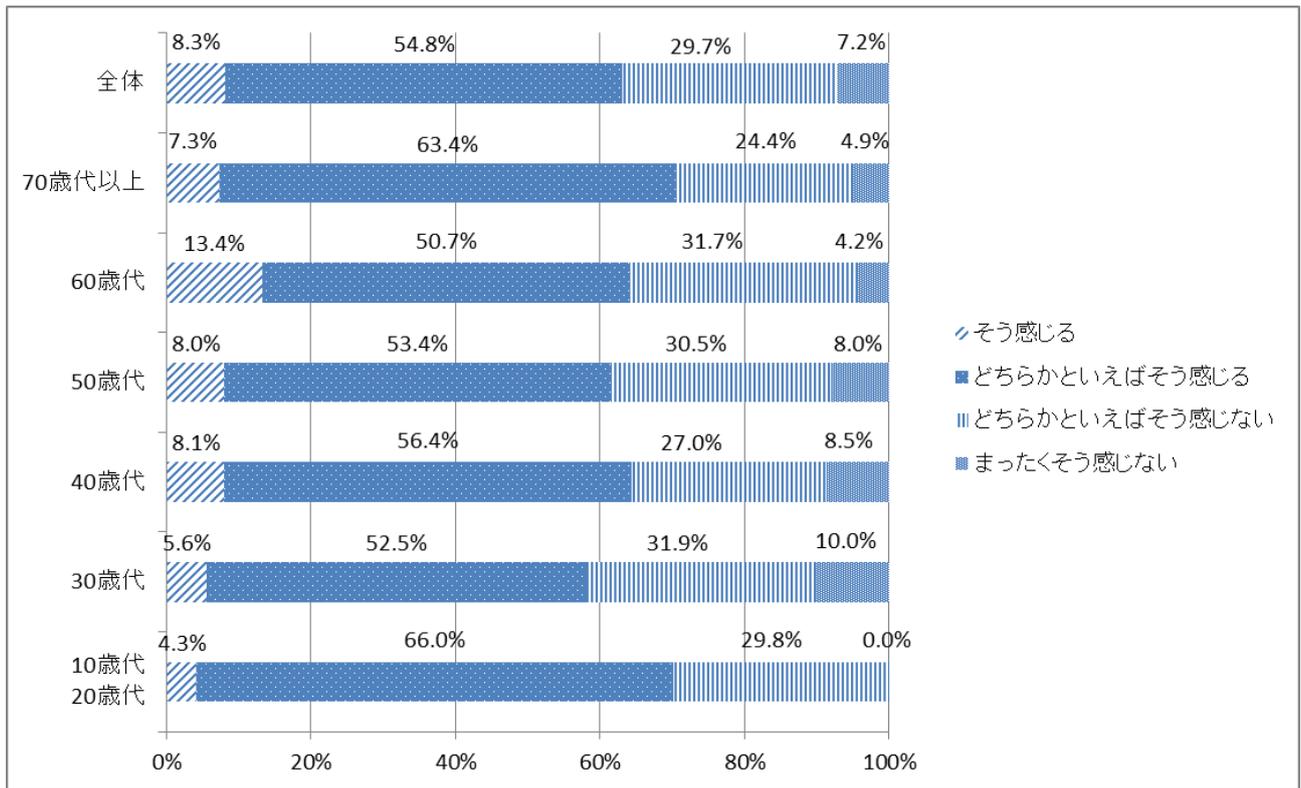


図 設備等のユニバーサルデザインについて（年代別）

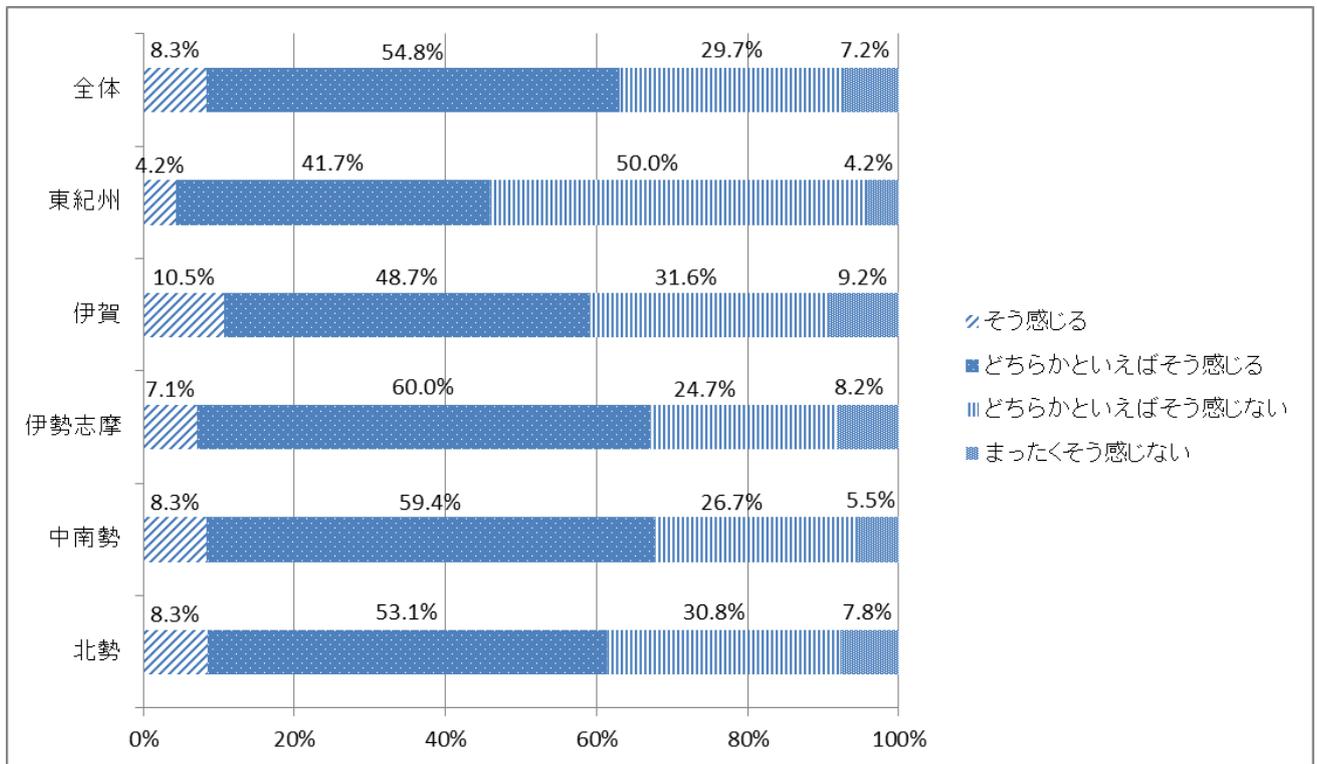


図 設備等のユニバーサルデザインについて（地域別）

## 11 製品及び情報提供に関するユニバーサルデザインについて

Q11 日常生活で使う製品、社会生活に必要な広報誌やチラシなどの情報提供が、障がい者、高齢者、妊産婦、外国人等さまざまな人の立場に立って配慮されてきていると感じますか。

製品、情報提供がさまざまな人の立場に立って配慮されてきているかという問いに、「そう感じる（4.5%）」「どちらかと言えばそう感じる（45.5%）」と回答した方は、あわせて50.1%となっており、建物や乗り物に関する同様の問いより13.0ポイント低い結果となりました。

年代別に見ると、70歳代以上（63.4%）、10歳代20歳代（55.3%）、40歳代（51.7%）の順に高くなっています。

一方、地域別で見ると、伊勢志摩地域（57.6%）が県全体の平均（50.1%）に比べて高くなっており、東紀州地域（37.5%）が低くなっています。

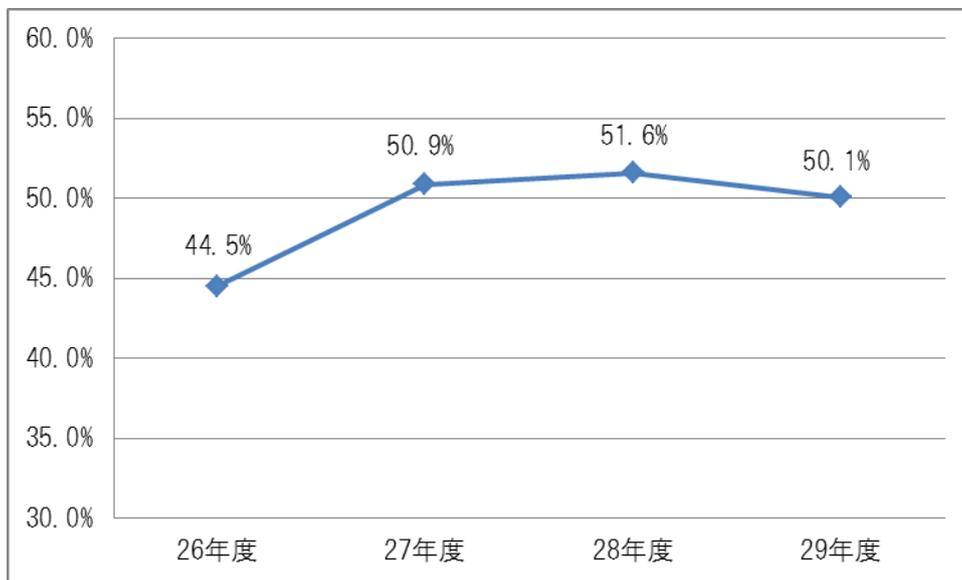


図 製品及び情報提供がさまざまな人の立場に立って配慮されていると感じる方の割合（過去の調査との比較）

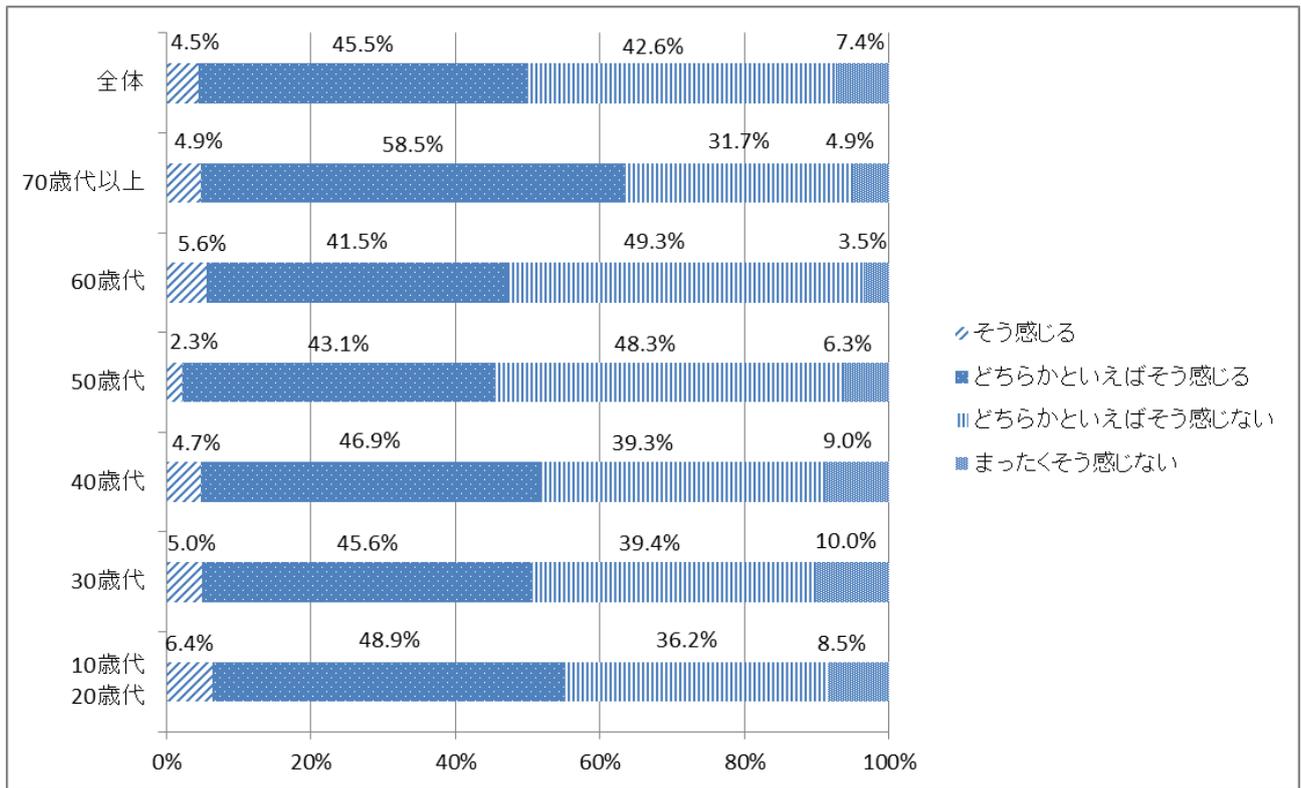


図 製品及び情報提供に関するユニバーサルデザインについて（年代別）

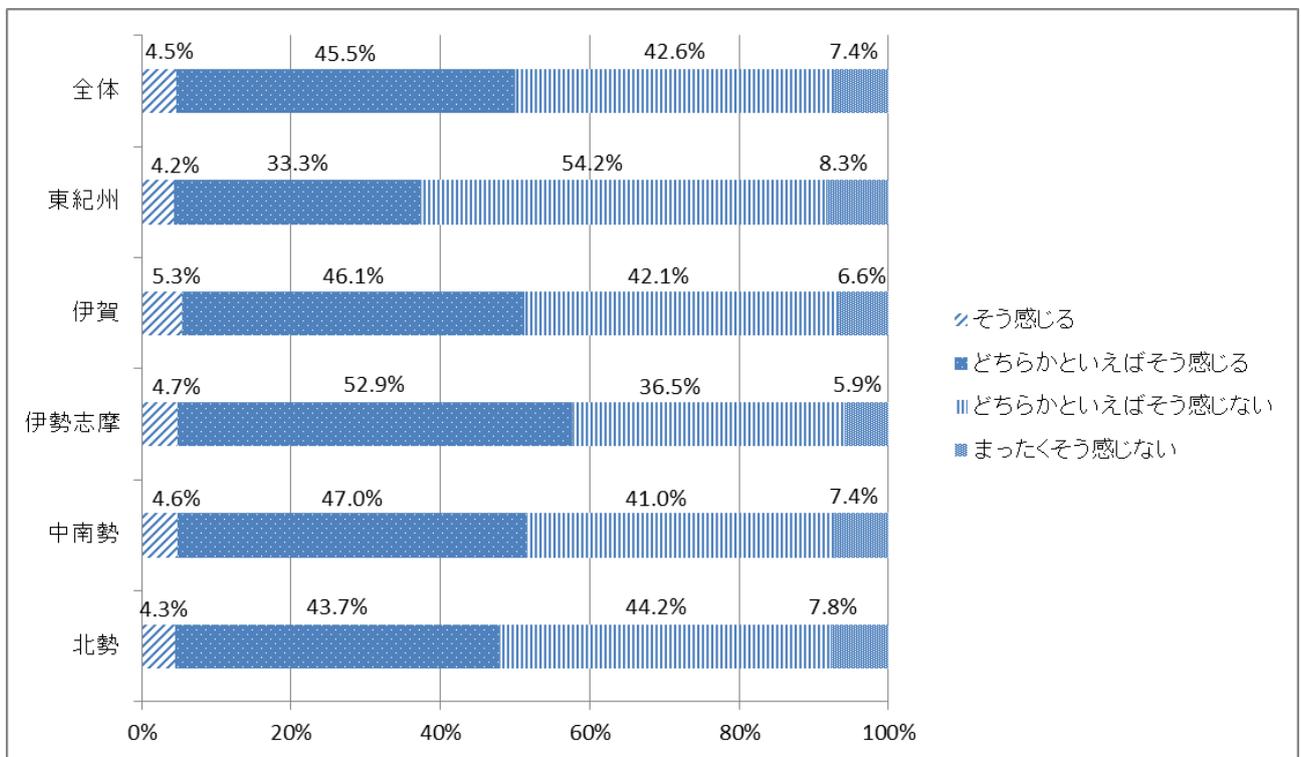


図 製品及び情報提供に関するユニバーサルデザインについて（地域別）

## 12 サービスの提供に関するユニバーサルデザインについて

Q12 国、県、市町等の行政サービスや商店、商業施設、宿泊施設等の民間企業等の顧客サービスが、障がい者、高齢者、妊産婦、外国人等さまざまな人の立場に立って提供されていると感じますか。（この設問での「サービス」は、案内表示や窓口サービス（説明）のわかりやすさ、利用手続きの簡素化、その他利用者の要望に応じたサービスをイメージしてください。）

行政サービスや顧客サービスがさまざまな人の立場に立って配慮されてきているかという問いに、「そう感じる（4.1%）」「どちらかと言えばそう感じる（49.0%）」と回答した方は、あわせて53.2%となっており、建物や乗り物に関する同様の問いより10.0ポイント低く、製品や情報提供の同様の問いとの差は小さい結果となりました。

年代別に見ると、10歳代20歳代（63.8%）、70歳代以上（61.0%）、60歳代（55.6%）の順に高くなっています。

一方、地域別で見ると、伊勢志摩地域（63.5%）が県全体の平均（53.2%）に比べて高くなっており、東紀州地域（37.5%）が低くなっています。

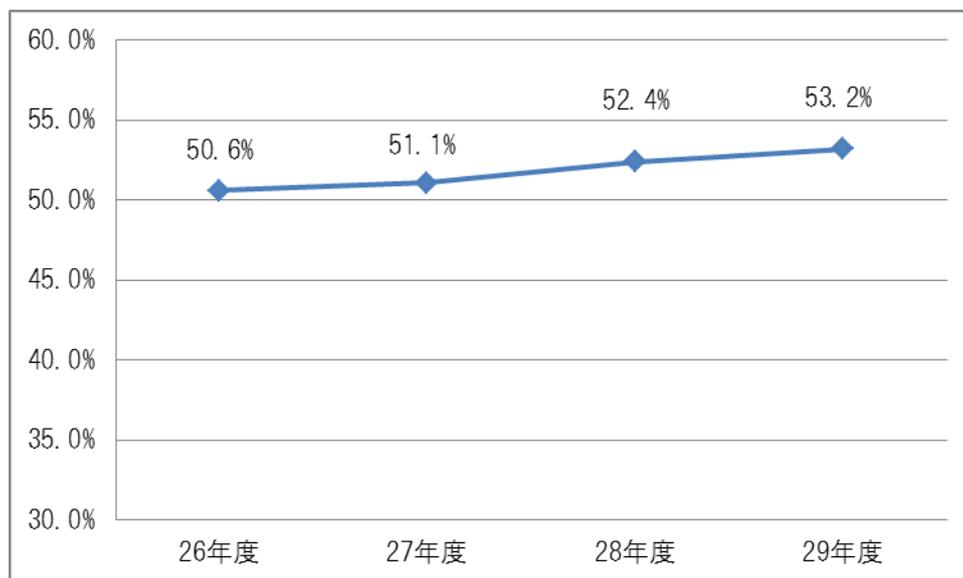


図 行政サービスや顧客サービスがさまざまな人の立場に立って提供されていると感じる方の割合（過去の調査との比較）

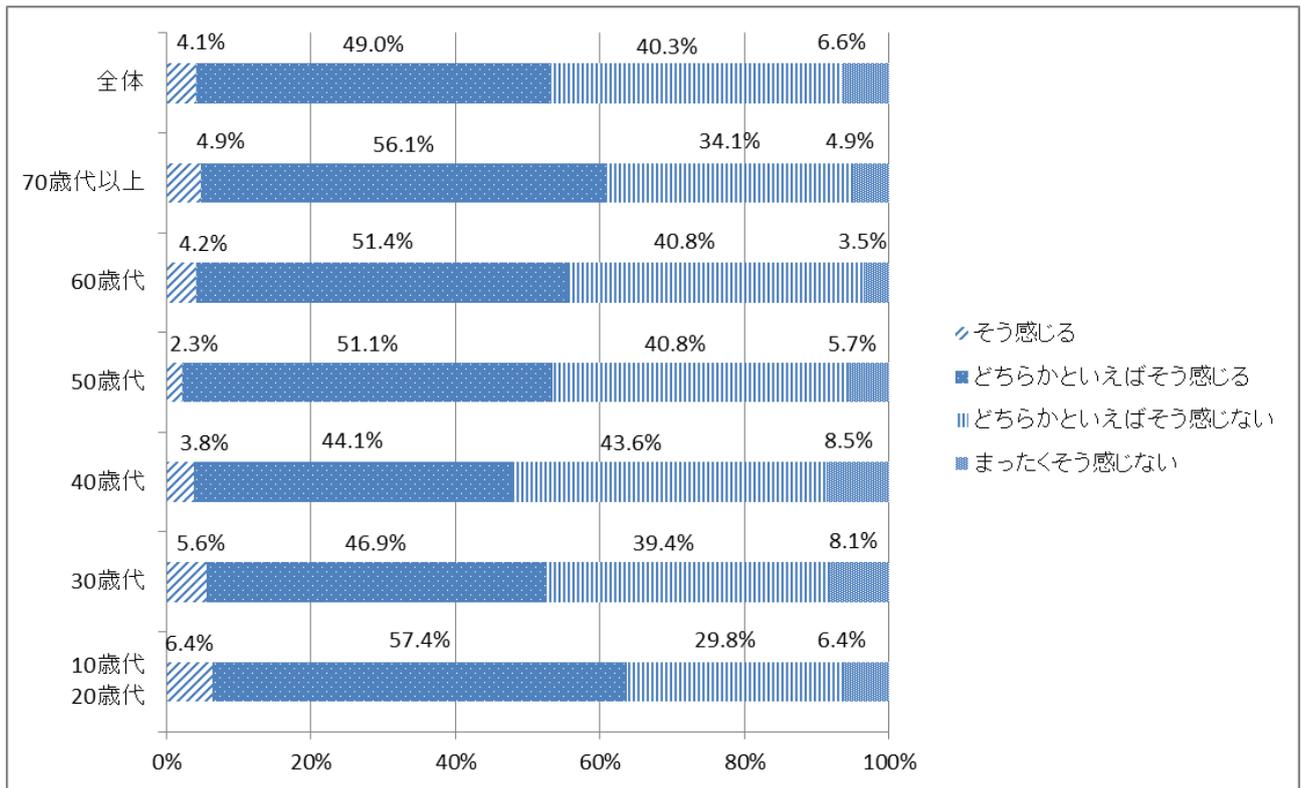


図 サービスの提供に関するユニバーサルデザインについて（年代別）

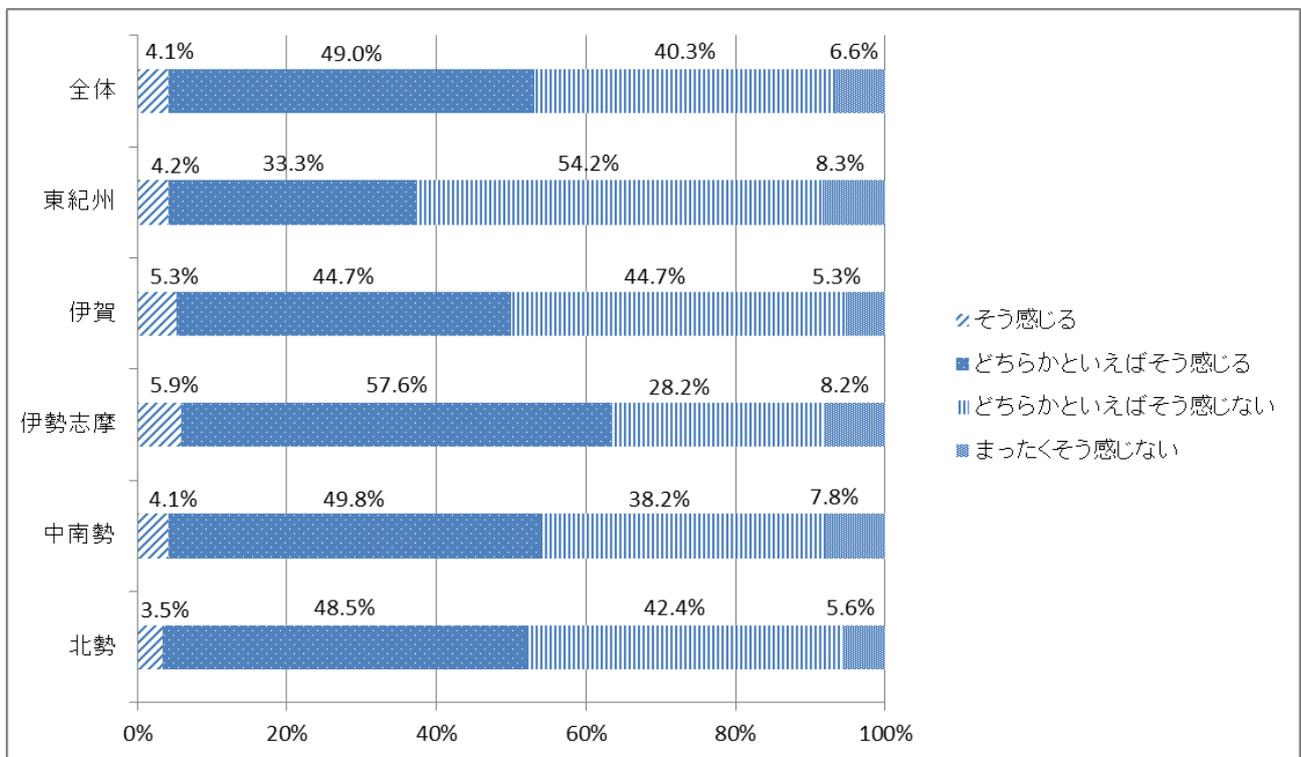


図 サービスの提供に関するユニバーサルデザインについて（地域別）

### 13 「三重おもいやり駐車場利用証制度」の認知度について

Q13 県では、障がい者や妊産婦、けが人などで、歩行が困難な方の外出を支援するため、公共施設や商業施設などに「おもいやり駐車場」の設置を進めるとともに、その利用証を交付する「三重おもいやり駐車場利用証制度」を実施しています。

[当制度のHPアドレス]

<http://www.pref.mie.lg.jp/UD/HP/73426012526.htm>

あなたは、「三重おもいやり駐車場利用証制度」をご存じでしたか。

「三重おもいやり駐車場利用証制度」について「制度の内容を知っている（47.1%）」「店舗等で見たことがあるが、内容は知らない（29.4%）」合わせて、全体で76.5%の方がおもいやり駐車場を知っているか、または見かけたことがあると回答しています。

年代別に見ると、70歳代以上（85.4%）、60歳代（78.2%）、30歳代（78.1%）の順に高くなっています。

地域別では、北勢地域（79.6%）、中南勢地域（78.3%）、東紀州地域（75.0%）、伊賀地域（69.7%）、伊勢志摩地域（64.7%）の順に高くなっており、地域間の差は小さい結果となっています。

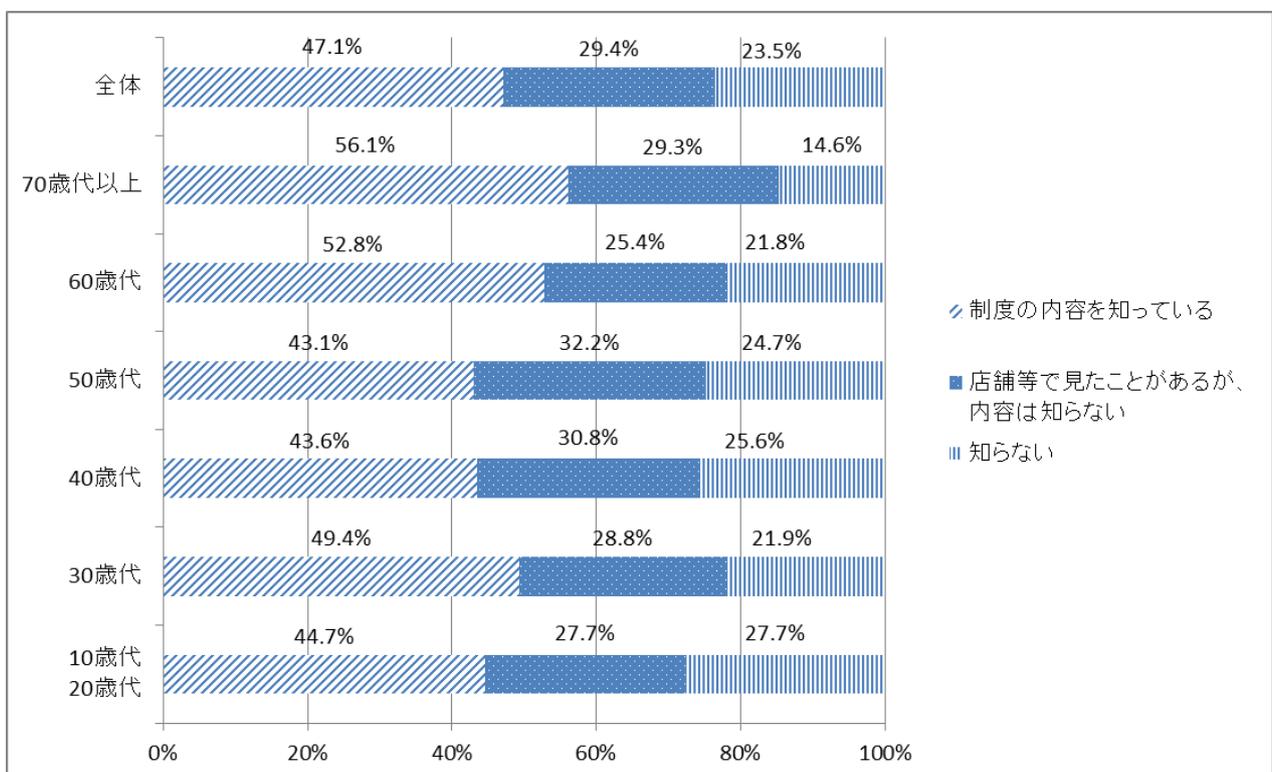


図 「三重おもいやり駐車場利用証制度」の認知度について（年代別）

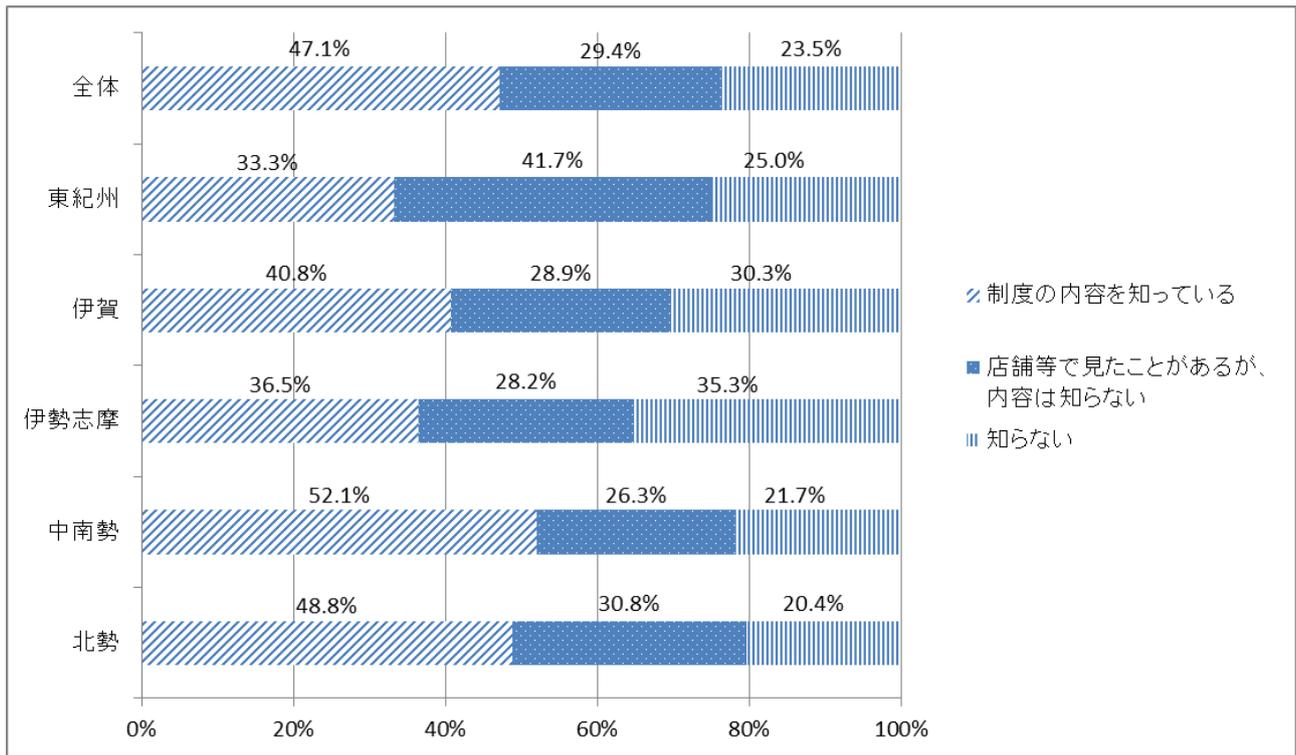


図 「三重おもいやり駐車場利用証制度」の認知度について（地域別）

#### 14 「三重おもいやり駐車場利用証制度」の今後のあり方について

Q14 Q13で「制度の内容を知っている」と答えた方にお聞きします。

あなたはこの「三重おもいやり駐車場利用証制度」の今後のあり方をどのように思いますか。

年代別に見ると、70歳代以上（91.3%）、60歳代（89.3%）、50歳代（89.3%）が高くなっていますが、どの年代でも多数の方が継続すべきであると回答しています。

地域別では、中南勢地域（89.4%）、東紀州地域（87.5%）、北勢地域（84.1%）が高くなっており、どの地域でも多数の方が継続すべきであると回答しています。

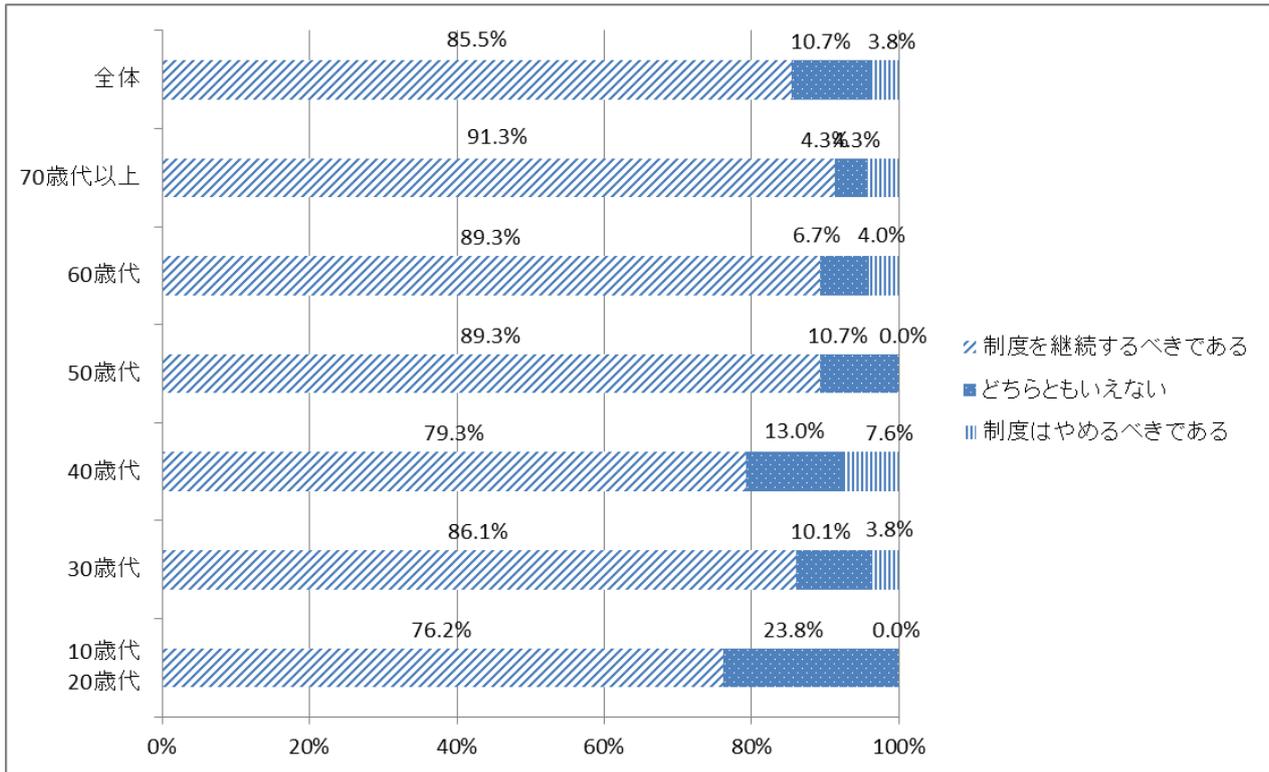


図 「三重おもいやり駐車場制度」の今後のあり方について（年代別）

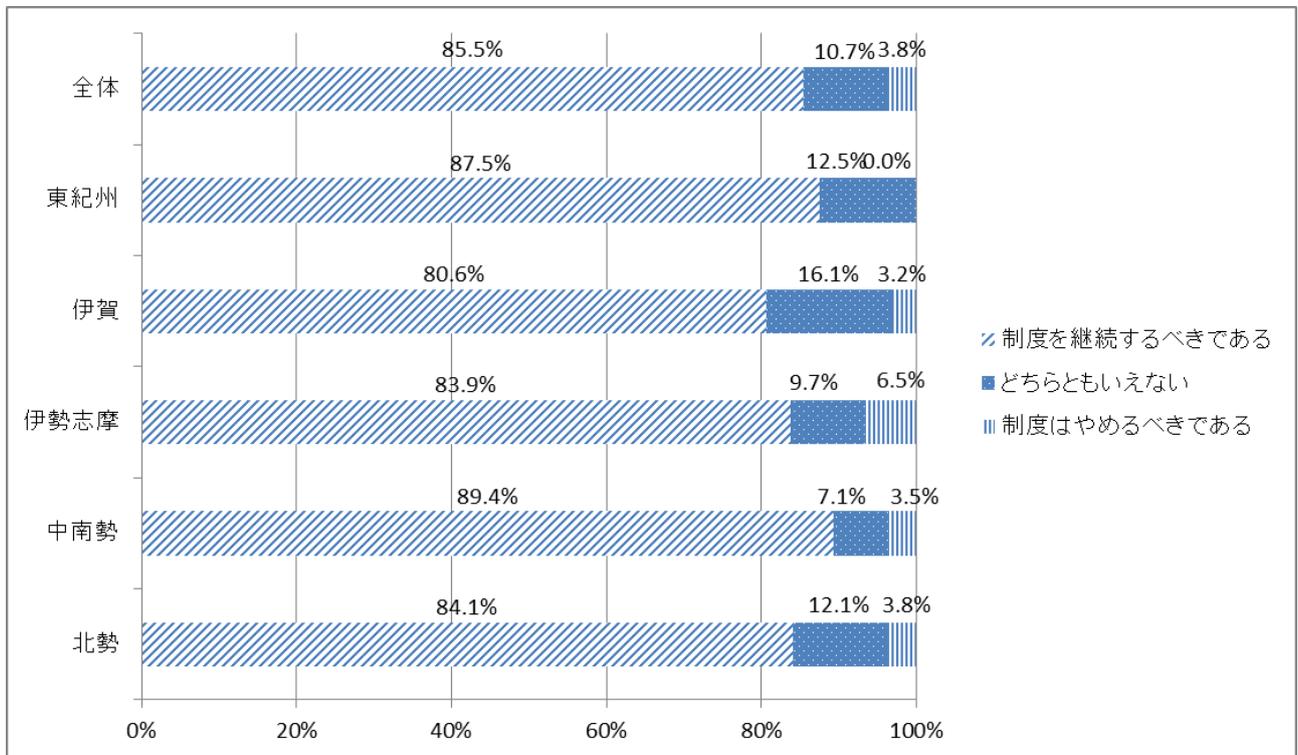


図 「三重おもいやり駐車場制度」の今後のあり方について（地域別）

## 15 「適合証プレート」の認知度について

Q15 県では、公共的施設の整備に関し、その施設が、障がい者、高齢者等が安全かつ快適に利用するために必要な基準に適合している場合には、整備基準適合証（「適合証プレート」）を交付しています。

[当制度のHPアドレス]

<http://www.pref.mie.lg.jp/UD/HP/20871012597.htm>

あなたは、「適合証プレート」を見たことがあり、その意味を知っていましたか。

整備基準適合証（「適合証プレート」）について、「店舗等で見たことがあり、示す意味を知っている（24.0%）」「店舗等で見たことはあるが、示す意味は知らない（12.6%）」を合わせて36.6%の方が見たことがあると回答しています。

また、「店舗等で見たことがあり、示す意味を知っている（24.0%）」「店舗等で見たことはないが、示す意味は知っている（12.0%）」を合わせて36.0%の方が示す意味は知っていると回答しています。

見たことがなく、示す意味も知らない方は、51.4%となっています。

年代別に見ると、見たことがある方の割合は、70歳代以上（51.2%）、50歳代（39.1%）、40歳代（37.4%）の順に高くなっています。

意味を知っている方の割合は、70歳代以上（53.7%）、60歳代（46.5%）、50歳代（37.9%）の順に高くなっています。

地域別に見ると、見たことがある方の割合は、東紀州地域（45.8%）、北勢地域（38.6%）、中南勢地域（35.9%）の順に高くなっています。

意味を知っている方の割合は、東紀州地域（41.7%）、伊勢志摩地域（38.8%）、北勢地域（38.3%）の順に高くなっています。

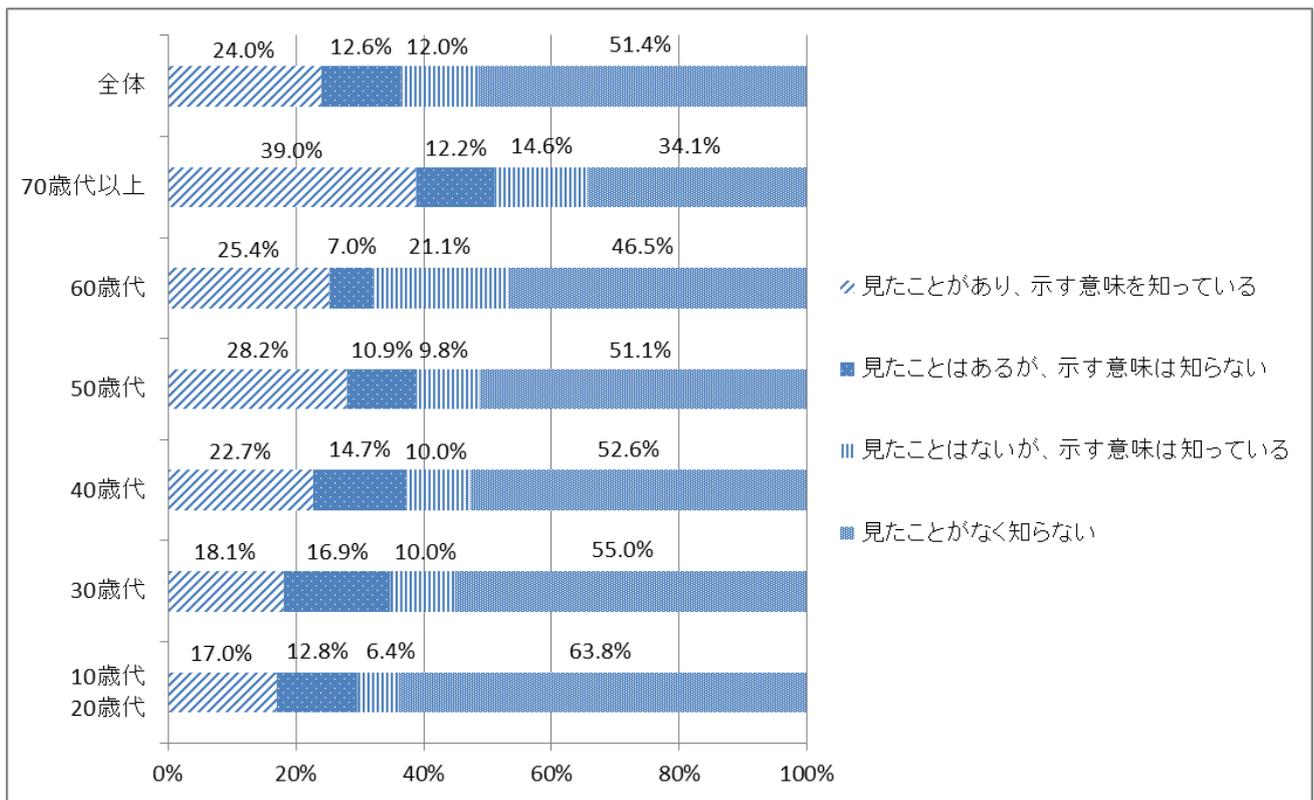


図 「適合証プレート」の認知度について（年代別）

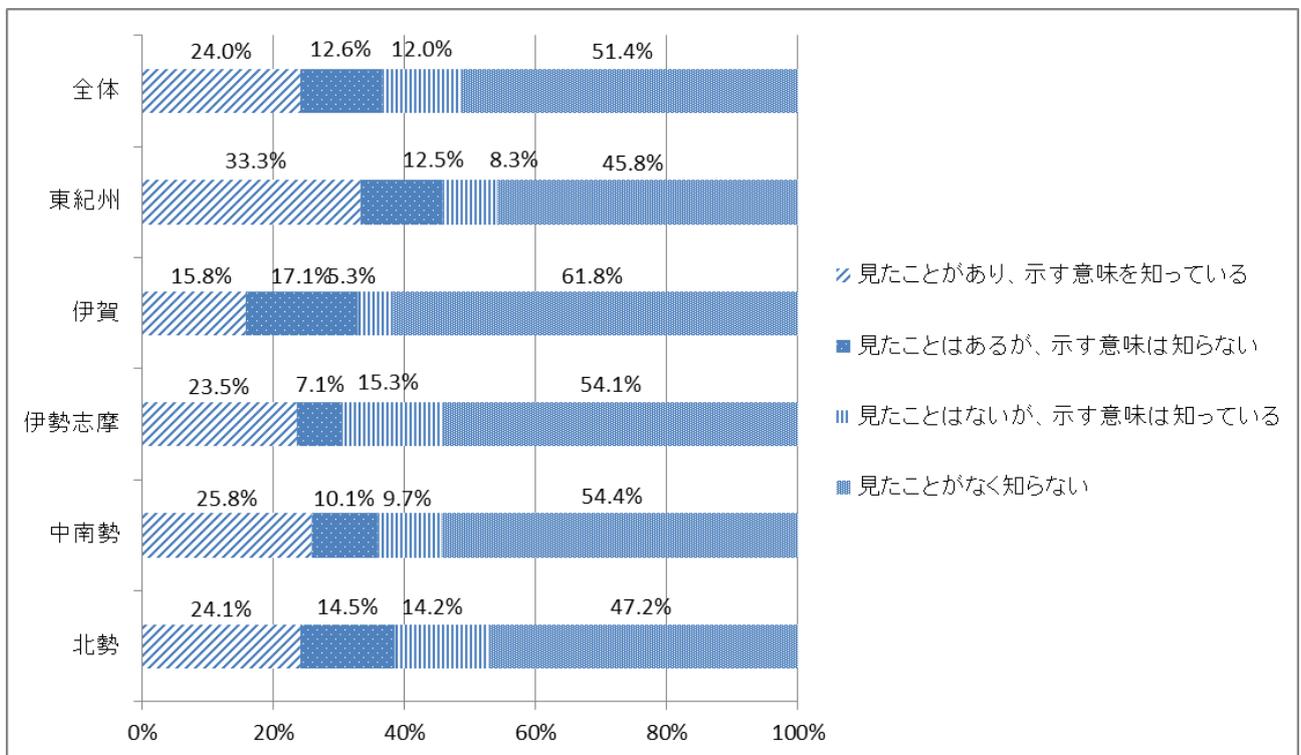


図 「適合証プレート」の認知度について（地域別）

## 16 「マタニティマーク」の認知度について

Q16 「マタニティマーク」は妊産婦が交通機関等を利用する際に身につけ、周囲の人が妊産婦への配慮を示しやすくするためのものです。また、交通機関、職場、飲食店等が、呼びかけ文を添えてポスターなどとして掲示し、妊産婦にやさしい環境づくりを推進するものです。

[参考：マタニティマークに関する厚生労働省のHPアドレス]

[http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kodomo/kodomo\\_kosodate/boshi-hoken/maternity\\_mark.html](http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kodomo/kodomo_kosodate/boshi-hoken/maternity_mark.html)

あなたは、「マタニティマーク」を見たことがあり、その意味を知っていましたか。

「マタニティマーク」について、「見たことがあり、示す意味を知っている(58.1%)」「見たことはあるが、示す意味は知らない(5.8%)」を合わせて63.9%の方が見たことがあると回答しています。

また、「見たことがあり、示す意味を知っている(58.1%)」「見たことはないが、示す意味は知っている(20.9%)」を合わせて79.0%の方が示す意味は知っていると回答しています。

見たことがなく、示す意味も知らない方は、15.2%となっています。

年代別に見ると、見たことがある方の割合は、30歳代(86.2%)、10歳代20歳代(76.6%)、40歳代(66.8%)の順に高くなっています。

意味を知っている方の割合は、30歳代(90.0%)、40歳代(83.9%)、10歳代20歳代(80.9%)の順に高くなっています。

地域別に見ると、見たことがある方の割合は、伊賀地域(68.4%)、中南勢地域(66.4%)、北勢地域(64.6%)の順に高くなっています。

意味を知っている方の割合は、北勢地域(81.2%)、伊賀地域(80.3%)、東紀州地域(79.2%)の順に高くなっています。

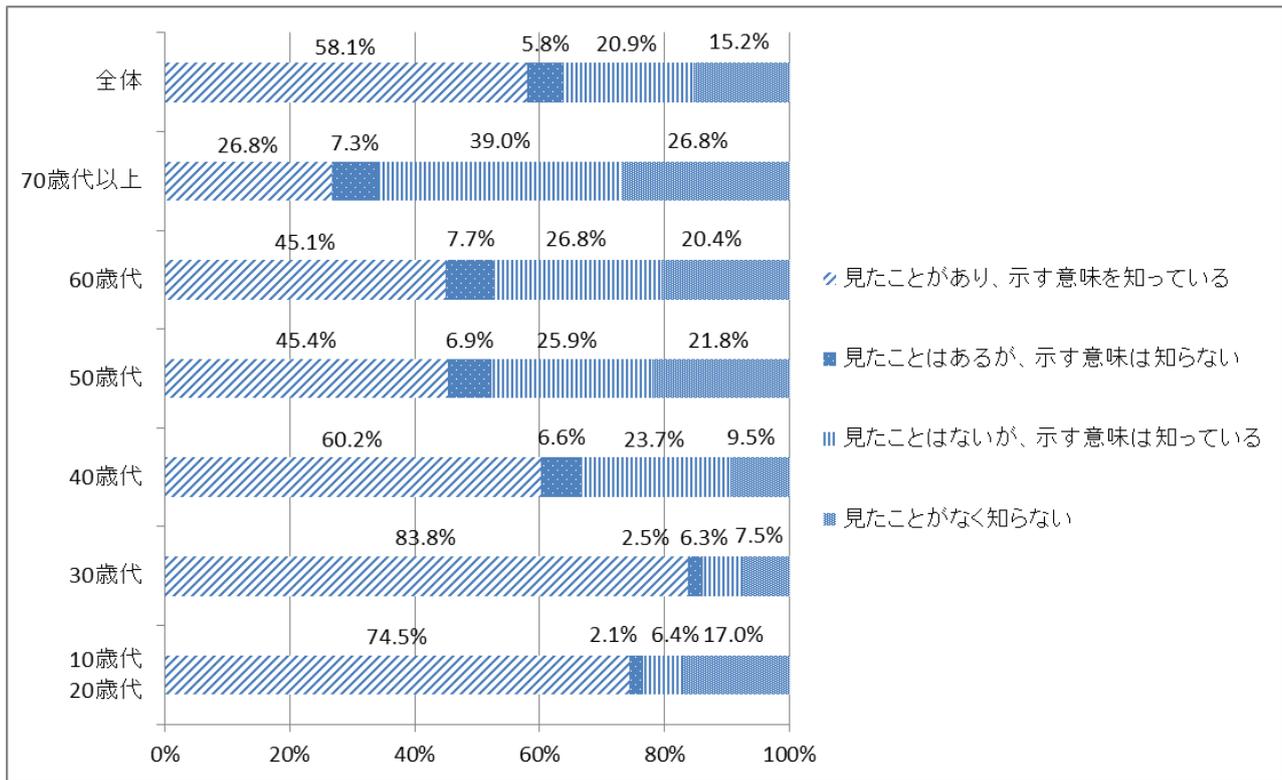


図 「マタニティマーク」の認知度について（年代別）

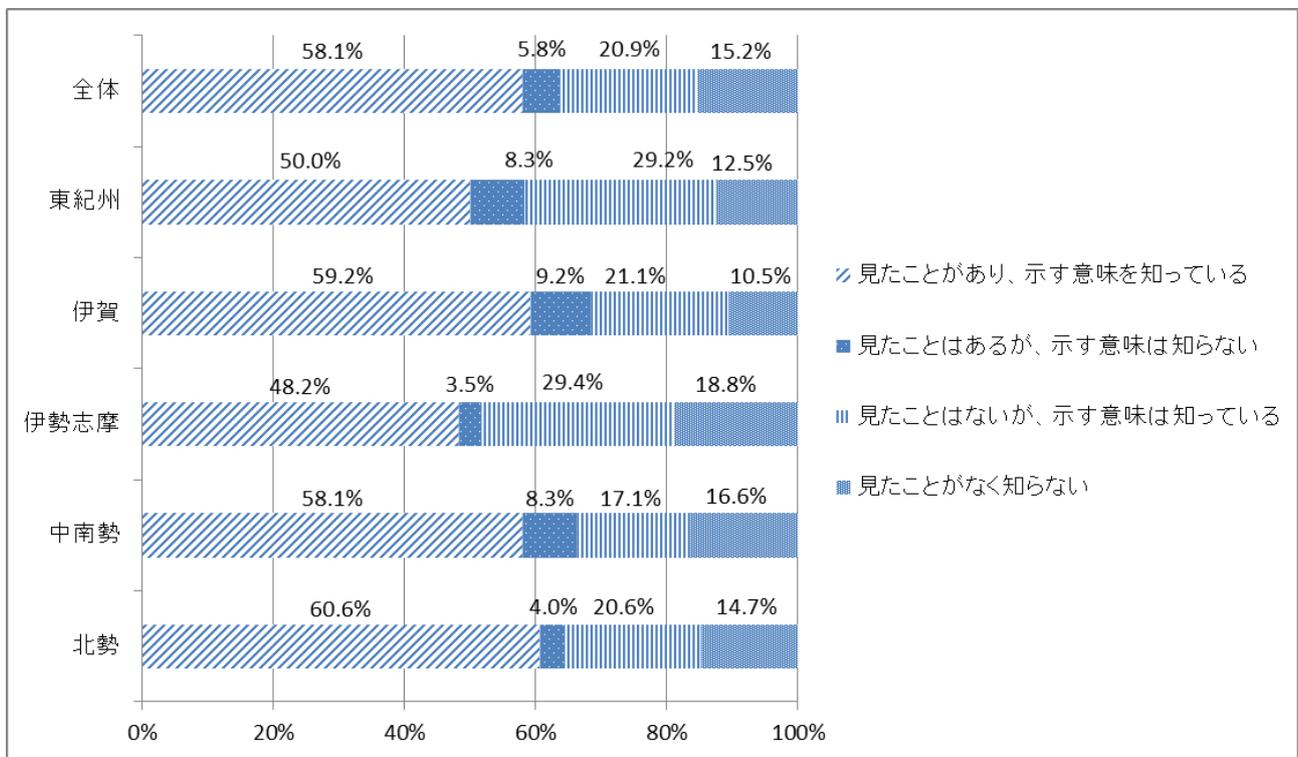


図 「マタニティマーク」の認知度について（地域別）

## 17 「ベビーカーマーク」の認知度について

Q17 「ベビーカーマーク」は公共交通機関や商業施設などにおいて、ベビーカー使用者が安心して利用できる場所や設備を明示したり、ベビーカーの使用を禁止する場所や設備を明示したりするためのものです。

[参考：ベビーカーマークに関する国土交通省のHPアドレス]

[http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo09\\_hh\\_000083.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo09_hh_000083.html)

あなたは、「ベビーカーマーク」を見たことがあり、その意味を知っていましたか。

「ベビーカーマーク」について、「見たことがあり、示す意味を知っている(27.2%)」「見たことはあるが、示す意味は知らない(6.1%)」を合わせて33.3%の方が見たことがあると回答しています。

また、「見たことがあり、示す意味を知っている(27.2%)」「見たことはないが、示す意味は知っている(27.7%)」を合わせて54.9%の方が示す意味は知っていると回答しています。

見たことがなく、示す意味も知らない方は、39.0%となっています。

年代別に見ると、見たことがある方の割合は、50歳代(39.1%)、60歳代(35.2%)、70歳代以上(34.1%)の順に高くなっています。

意味を知っている方の割合は、60歳代(64.1%)、70歳代以上(61.0%)、40歳代(54.0%)の順に高くなっています。

地域別に見ると、見たことがある方の割合は、北勢地域(36.7%)、中南勢地域(32.3%)、東紀州地域(29.2%)の順に高くなっています。

意味を知っている方の割合は、東紀州地域(62.5%)、伊賀地域(56.6%)、伊勢志摩地域(56.5%)の順に高くなっています。

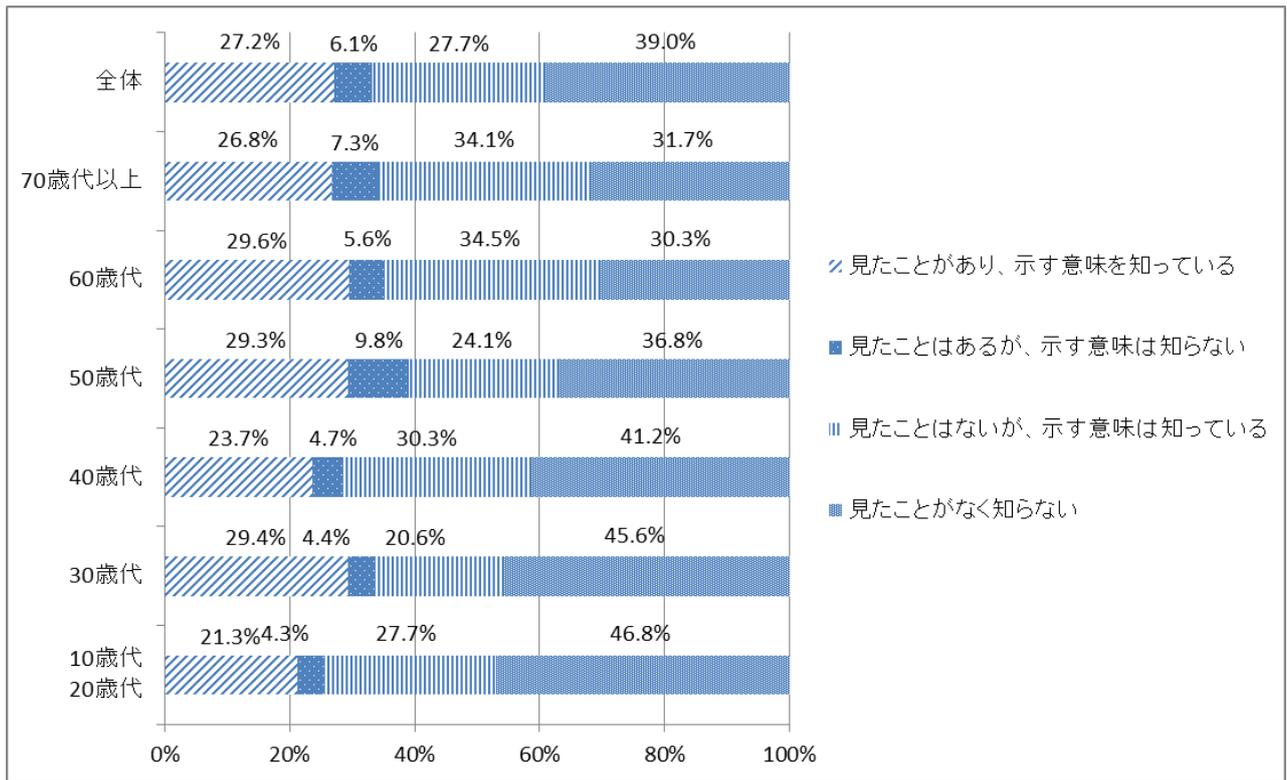


図 「ベビーカーマーク」の認知度について（年代別）

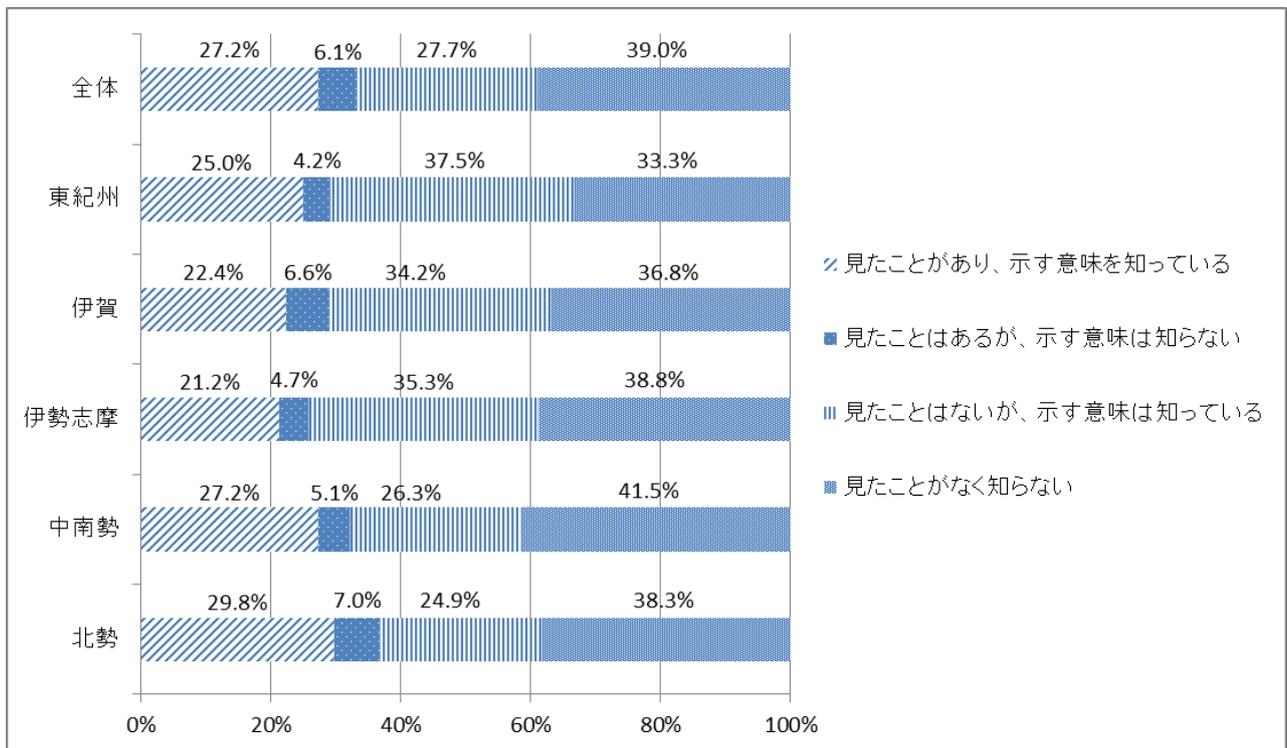


図 「ベビーカーマーク」の認知度について（地域別）

## 18 「ヘルプマーク」の認知度について

Q18 「ヘルプマーク」は義足や人工関節を使用している方、内部障がいや難病の方、または妊娠初期の方など、外見から分からなくても援助や配慮を必要としている方々が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることで、援助を得やすくなるよう、作成したマークです。

あなたは、「ヘルプマーク」を見たことがあります、その意味をご存じですか。

[参考：ヘルプマークに関する東京都福祉保健局のHPアドレス]

[https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/shougai/shougai\\_shisaku/helpmark.html](https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/shougai/shougai_shisaku/helpmark.html)

「ヘルプマーク」について、「見たことがあります、示す意味を知っている（13.4%）」「見たことはあるが、示す意味は知らない（5.7%）」を合わせて19.1%の方が見たことがあると回答しています。

また、「見たことがあります、示す意味を知っている（13.4%）」「見たことはないが、示す意味は知っている（27.0%）」を合わせて40.4%の方が示す意味は知っていると回答しています。

見たことがなく、示す意味も知らない方は、53.9%となっています。

年代別に見ると、見たことがある方の割合は、70歳代以上（31.7%）、10歳代20歳代（23.4%）、50歳代（19.5%）の順に高くなっています。

意味を知っている方の割合は、70歳代以上（61.0%）、60歳代（51.4%）、50歳代（43.1%）の順に高くなっています。

地域別に見ると、見たことがある方の割合は、北勢地域（21.2%）、東紀州地域（20.8%）、中南勢地域（19.4%）の順に高くなっています。

意味を知っている方の割合は、東紀州地域（62.5%）、北勢地域（42.6%）、中南勢地域（37.3%）の順に高くなっています。

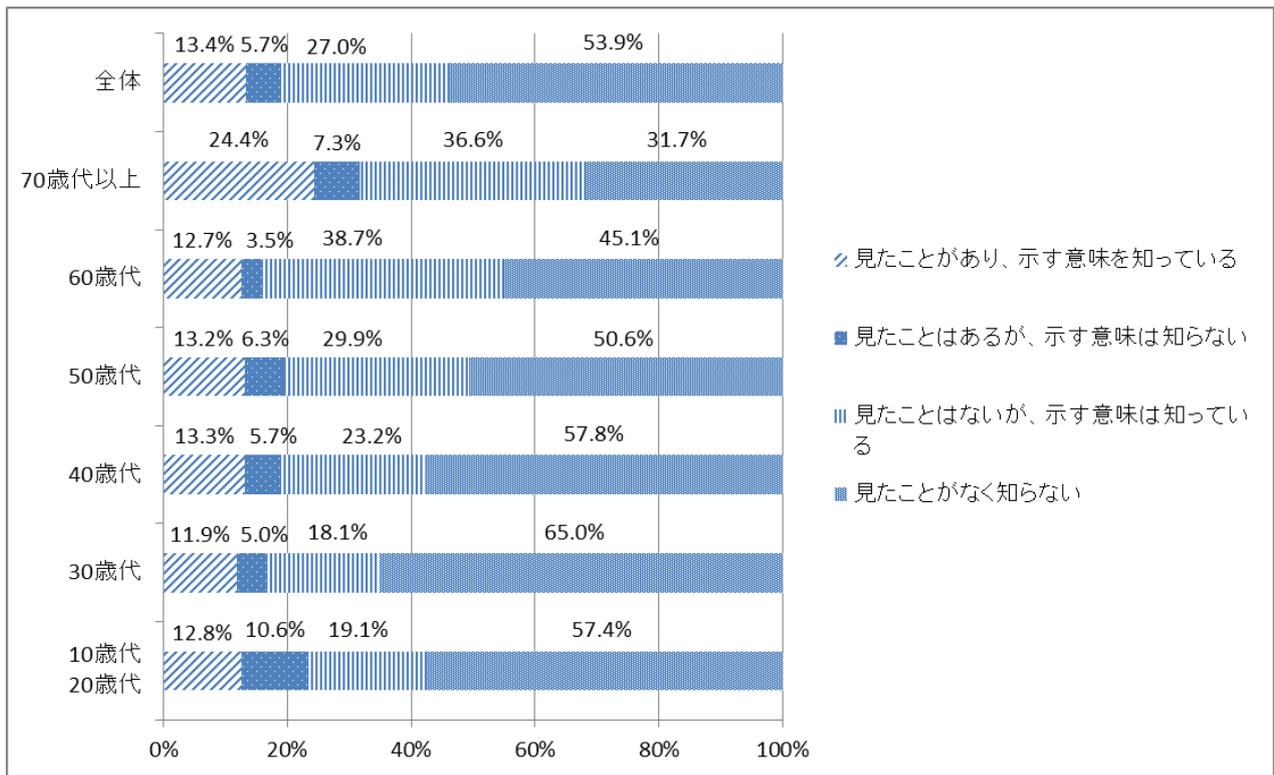


図 「ヘルプマーク」の認知度について（年代別）

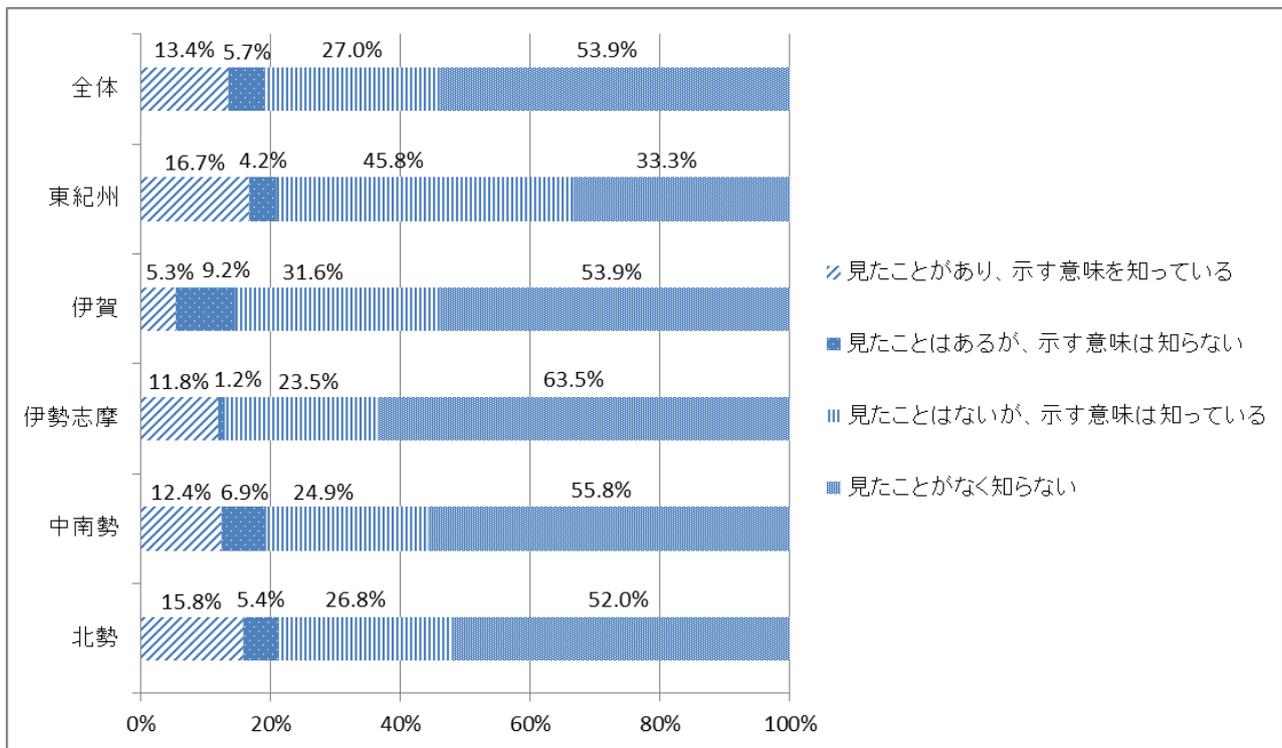


図 「ヘルプマーク」の認知度について（地域別）